

# NCS

# Magazine

2022 May [japanchess.org](http://japanchess.org)

# #1

Interview

IM 小島慎也



特集:全日本チェス選手権地区予選大会  
**東京チェス選手権2022**

[入賞者自戦記] 牧野光則



National  
Chess  
Society of  
JAPAN

# NCS Magazine # 1 May 2022

## Tournament Report

03 特集

### 全日本チェス選手権 地区予選大会

東京チェス選手権2022

[入賞者自戦記] 牧野光則

各地区予選レポート

26 アジア大会代表選考会  
全日本ユースチェス選手権2022ほか

## Interview

16 IM 小島慎也さん

30 岡部悠真さん

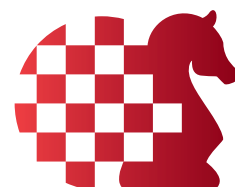
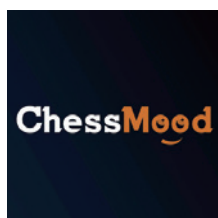
19 名プレイヤーから学ぼう 山田弘平

25 チェス大会 in アメリカ 上杉和哉

28 タクティクス・ジム 山田明弘

32 CHESS IN JAPAN Scott, Tyler

36 NCS(日本チェス連盟) これまでの歩み ヒーバート由美子



National  
Chess  
Society of  
JAPAN





Tournament  
Report  
大会レポート

# 特集：全日本チェス選手権地区予選大会 東京チェス選手権2022





## 春本番

年が明け、冬の寒さがゆるみ始めるころ、日本チェス界には活気が溢れ出します。5月の全日本選手権への出場権がかかる予選会が各地で開かれるからです。今年は2月6日の西東京を皮切りに、愛知県(2/13)、千葉(2/26-27)、中四国(3/12-13)、兵庫(3/13)と続き、そして3/19-20、東京チェス選手権の開催に至りました。6Rスイスで、持ち時間30分+30秒/手。参加者の最年長は74歳、最年少は10歳です。チェスを愛する老若男女56名が久しぶりに対面のゲームを楽しみつつ、カテゴリー(オープン、U-1800、U-1400)入賞と全日本選手権シード権とを競い合った大会の様子をレポートします。

会場はNCS大会では初めて使用の「北とぴあ」でした。JR京浜東北線の王子駅から歩いて2分と駅近で、周囲には飲食店が豊富にあり、参加者には嬉しいロケーションです。試合は16階の会議室で行われました。見晴らしが良くてさわやかな気分になりましたし、テーブルの間隔が

広くあけられ、背中合わせに座った選手同士の椅子の間を悠々と一人一人が通れる配置でした。密を避けるコロナ対策の一環ではありますが、平時に戻ってもこのくらい余裕のある環境でゲームがしたいなあと感じました。

## YouTubeのメリット

今大会は、まん延防止等重点措置の適用期間内だったため、各種の感染予防対策が講じられた上での開催となりました。例えば二日とも試合開始前に参加者は「健康セルフチェックシート」を記入して提出することが義務付けられました。加えて、密を避けるため「試合後の選手含め、会場での見学を一切禁止」となりました(大会規則「まん防下におけるCOVID-19対策」第2項)。普段であれば、次のラウンドに備えて早めに会場に戻ると「あれ?まだ続いているゲームがあるな」と気づき、長手数にわたる熱い戦いの周りをぐるり観戦者が取り囲み、ゲームの進行を固唾を飲んで見守る。これが大会に参加する楽しみの一つですが、



配信中継中の黒坂氏

今大会では禁止。大会スタッフのみが遠くから注視するだけとなったのが残念でした。

この制約を埋め合わせたのがYouTube中継でした。各ラウンド、1番ボードから3番ボードまでの3試合が実況中継されたのです。例えば第1ラウンドでは1番ボードが夫婦対決で、隣の2番が将棋のプロ棋士対決など、全6ラウンドそれぞれ興味津々のゲームが、会場では(感染症予防で)観戦できないけれど、YouTubeでは最初から最後まで見ることができましたし、後から見ることもできます(\*)。一人でPC4台、スマホ2台、カメラ3台を駆使して中継した黒坂雄基さん(NCSスタッフ)、お疲れ様でした!

\*NCSのHPでは大会ごとに「再生リスト」が作ってあります。東京チェス選手権はこちらです[[東京チェス選手権2022 - YouTube](#)]。各ラウンド上位3ボードの棋譜はここで見ることもできます[[Tokyo Chess Championship 2022: round 1, game 1 \(livechesscloud.com\)](#)]。





## 2R：急転直下

大会を振り返りましょう。まず、第2ラウンドのこのゲームには驚かされました。



図は1番ボードの斎藤寛将一-小島慎也、11.0-0と白がキャストリングした局面です。キャストリングはチェスの基本であり、黒ルーク(e8)の効きからキングを遠ざけて当然の一手に見えましたが...



### 11...Bxh2+!

狙いすましたパンチが顔面に入りました!

### 12.Kxh2 Ng4+ 13.Kg3 g5 14.Bf5 gxh4+ 15.Kxg4 Qg5+ 16.Kf3 Bxf5 0-1

一見して「普通」に見えた局面から、わずか5手でリザイン。チェスの恐ろしさ、マスターの底力が存分に現れたゲームでした。

## 4R：白熱の攻防

初日3試合が終わり、3ポイントは小島慎也、青嶋未来、東野徹男、Averbukh, Alex、野口恒治、上谷敏章の6人でした。翌日の第4ラウンドは彼ら全勝者同士の直接対決です。レーティング2000超の強豪が居並ぶなか、お一人だけUR(レーティング未定)が混じったことが目を引きましたけれど、YouTube放送のチャット欄に「上谷氏は1987年のシンガポールのアジア大会に日本代表で出ていましたね」の情報が寄せられて、納得。昔取った杵柄で、順当な勝ち上がりだったのでした。チェスから長く離れた方が「また戻ってきてくれたことは嬉しいですね」(篠田)に私も同感です。

次の図はトップボードの東野-小島、15.dxc5 bxc5の局面です。



東野 徹男



上谷 敏章

黒c5とd5のポーンはHanging pawn(浮いているポーン)と呼ばれ、二つがConnected(隣り合っている)です。1.d4で始まるオープニングにはよく出現する形で、ポーン側が「機を見てd5-d4とポーンを突けるか否か」が形勢の分かれ目となります(\*)。突きたい。突かせたくない。長いやり取りの末、黒がポーンをd5-d4と突いてからのスリリングな白熱の攻防が中継ボードで見られますし、YouTubeではIM池田惇多と篠田太郎の解説付きで楽しめます。今からでもどうぞご覧ください。

\*Ivan Sokolov, *Winning Chess Middlegames*, New in Chess, 2008, p.180.

## 5R：意外な大差

続く第5ラウンドの組み合わせは1番ボードが小島(4pts)-青嶋(4)、2番が中村(3.5)-野口(4)、3番がAverbukh(3)-富井義括(3.5)。4連勝の3人に3.5ポイントの2人がからむ、先頭集団の激突です。

サッカーでは、実力伯仲のチーム同士の対戦が、ロースコアの接戦になるかと思いきや、意外な大差とな



青嶋 未来

ることがあります。そのことを、このラウンドで連想しました。



図は小島—青嶋、24.Raa3まで。24手も進んでいるのに未だポーンが8つとも盤面に残っていて、しかし形勢ははっきり白が優勢です。良いナイトvs悪いビショップで抑え込まれ、黒にとって「楽しみのないポジション」(青嶋)となっていました(\*)。ここから先、白が2つのルークを躍動させる一方、黒は反撃の糸口すらつかめずに敗北の憂き目を見ることとなりました。2番の中村と3番のAverbukhもそれぞれ大差の勝利を収めました。小さなミスでも、

取り返しがつかない。強者同士の対戦の厳しさと言えましょう。

\*[東京チェス選手権\(2日目\)|ミライの棋譜ノート \(ameblo.jp\)](#)

## 6R: サバイバルマッチ

そしていよいよ最終の第6ラウンドです。1番ボードが中村(4.5pts)—小島(5)。5戦全勝の小島に、昨年の東京チェス選手権優勝者の中村が半ポイント差で挑みます。以下、2番が青嶋(4)—野口(4)、3番が大塚翔生(4)—Averbukh(4)、4番が山田弘

平(4)—牧野光則(4)。ずらり4ptsが並び、優勝は無理だが2位になる可能性がある選手たちです。入賞を目指し、生き残るのは誰か？

図は中村—小島、10... bxc5 11.bxc5まで。黒がc8のビショップをどう動かすのだろうか？と、あれこれ指し手を予想しながら見ていると...



11...e5!

e5に効いているのは白が2つで黒は1つ。駒の数が足りていないように見えますが、12.dxe5 Ng4と跳んでポーンを取り返せるのみならず、... Bxc5とこちらのポーンを取る手がf2を集中攻撃する狙いも含まれています。以下、混戦のねじり合いとなり、小島が少しずつ優位を拡大しますが、中村も頑強に抵抗し、決め手を与えません。82手という長手数に末にドローとなりました。



2日目 6R、トップボードが長いゲームで残る



こうして小島が5.5ptsで優勝。2位には5ptsの青嶋、3位に同ポイントの中村という結果となりました。

大会全体を振り返れば、初戦に青嶋に敗れた後は5連勝で4位に入った牧野光則(Eloパフォーマンス2209)、3位の中村と引き分けた富井義括(同1868)、小学生ながら次々と大人に勝った端本俊仁(同1793)が注目されました。全日本選手権での活躍が大いに期待されます。

全日本選手権シード権は、次の11人の方が取得されました。上谷 敏章、端本 俊仁、小笠 誠一、小山 信行、Nguyen, Tuan Anh、Farfurnik, Alex、山田 真明、遠藤 晴人、溝端 響太郎、福田 豊秋、山田 貴彦。

おめでとうございます！

## 東京チェス選手権2022

### ◆ オープン

1 小島 慎也	5.5/6
2 青嶋 未来	5.0
3 中村 尚広	5.0

### ◆ U-1800

1 牧野 光則	5.0
2 富井 義括	4.5
3 Wijaya, Tony	4.0

### ◆ U-1400

1 端本 俊仁	4.0
2 Boivineau, Andre	3.0
3 Smart, Lachlan	2.5



文：神田大吾





1Rから注目を集めた「棋士対決」



**入賞者自戦記**  
牧野光則

チェスは3年ほど前に桑名七盤(連珠、どうぶつしょうぎ、オセロ、チェス、囲碁9路、将棋、バックギャモンを横一列に並べて一斉にプレイする競技)をすることになった時に少しやってみたのですが専ら連珠(競技五目並べ)ばかりすることになってしまい結局チェスに取り組むことはありませんでした。

なぜか去年の11月にチェスにはまってしまい毎日やっていました。2ヶ月やったところで大会に出てみようかということになり、1月に新年チェス祭というのがあったので参加しました。

現状での自分の実力を試してみたいのと、東京のチェスの大会とはどのような雰囲気のものなのかと、日本のチェス界とはどのようなものなのか見てみたかったというところ

ですかね。雰囲気は素晴らしかったです。私の知っている他競技の大会とはけっこう違うものですね。感動しました。

大会に参加するのが最上の上達法と思っているふしもあるので2月からの各地の全日本地区予選に遠征し今に至ります。

今回は3月の東京選手権の3局を振り返ってみます。格上の強豪と対戦するのが刺激的なので一番面白いです。

## 1R 青嶋戦

1回戦から青嶋さんと当たるとは不思議な縁ですね。トップボードの小島夫妻といい、いきなり当たらなくてもいいのにと思いましたが。

くじ運とは妙なものです。2番ボードで中継して頂きました。

1. e4 c5 2. Nf3 Nc6 3. d4 cxd4

オープンシシリアンは何かとややこしすぎるので始めてしばらくはオープンにせず指していた。見様見真似でオープンシシリアンも指すようになった。難しい。

4. Nxd4 Nf6 5. Nc3 e5 6. Ndb5 d6 7. Bg5 a6 8. Na3 b5 9. Nd5 Be7 10. Bxf6 Bxf6 11. c3 Bg5 12. Nc2 Rb8 定跡とかまるで知らないし知識に乏しいので、あとは地力ががんばるのみと思っていた。メインラインみたいなものを堂々と指すわりに、特に研究とかするようなタイプでもない。

13. Bd3 g6 14. g3 O-O 15. h4 Bh6 16. g4 a5 17. g5 Bg7 フィアンケットビショップを使いづらく戦えば白もやれるのではと思っていたが。

18. Qd2 Be6 19. h5 b4 クイーンサイドで動かれ、白はどちらにキャスリングしてもしなくてもキングが不安定なため難しい戦いになった。

20. f3 bxc3 f3は緩手。

21. bxc3 Re8 Re8が緩手。直ちに Bxd5 exd5 e4と局面を開けば黒が優勢の局面らしい。

22. hxg6 hxg6 23. Bc4 Rb2 Bc4が急所の1手らしい。これが指せて持ち堪えているのか。黒のフィアンケットビショップが開けないのが大きいようだ。

24. Bb3 Bxd5 このタイミングで Bxd5はよくなかったらしい。

25. Qxd5 Qc7





26. Qd2 Rb8 Qd2は悪手。本局で唯一白が良かった瞬間で直ちにロンキャスすれば大優勢であった。難しい中盤で水面下で形勢は揺れ動いていた。序盤から湯水のように持ち時間を消費していく棋風なので一番時間を使いたい中盤の難所ですすでに時間が無い。

27. Qh2 Nd8 Qh2は大悪手。a5で終わっていた。本譜も黒良し進行。

28. Qd2 Ne6 29. O-O-O R2xb3 30. axb3 Rxb3 31. Rhe1 Rxc3 32. Re3 Rc4 33. Qd3 Nd4 34. Rd2 Rb4 35. Qa3 Nb5 36. Qa1 Rc4 37. Kd1 Nc3+ 38. Ke1 a4 39. Na3 Rc5 40. Rc2 Nxe4 黒が決め切れずかなり難しくなった。

41. Rxc5 Nxc5 Rを取ったのが最後の敗着といった感じで、Nを取る1手であればまだ互角付近で粘っていた。

以下、うまく凌げればドローの可能性もありそうなので一応指し続けたがエンドの苦手な私には無理でした。

42. Qd1 Qd8 43. Rc3 Qa5 44. Qd2 e4 45. Rc2 Qxd2+ 46. Kxd2 exf3 47. Ke3 Kf8 48. Kxf3 Ke7 49. Nc4

Ne6 50. Kg4 Bd4 51. Ra2 d5 52. Nd2 Nc5 Na3なら端のポーンが落ちそうで、黒で勝つのも本譜よりはだいぶ難しいらしい。気付かなかった。

53. Nf3 Bg7 54. Kf4 Ke6 55. Re2+ Kd6 56. Ra2 d4 57. Nd2 Kd5 58. Kf3 Bf8 59. Ra1 Be7 60. Kg4 Nb3 61. Nxb3 axb3 62. Kf4 Kc4 63. Rc1+ Kd3 64. Rc6 b2 65. Rb6 Kc2 66. Rc6+ Kb3 67. Rb6+ Bb4 終わって回りを見渡すと全てのゲームが終わっていて、最後までやっていたのは結構大熱戦だったのかも認識。中盤のミスは痛恨だが面白かった。

## 5R 東野戦

東野さんは元アマ竜王かつアマプロ戦にも参加されていたのでご高名は存じ上げておりました。

チェスのレーティングも高いのでいつか対戦できるのを密かに楽しみにしていました。

1. e4 e5 2. Nf3 Nc6 3. Bb5 a6 私の旅路は「安心・安定・アナーキー」の「3A」ルイロペスへと向かった。

4. Ba4 Nf6 5. O-O Be7 6. Re1 b5 7. Bb3 d6 8. c3 O-O 9. h3 h6 ここでh6は少数派。まあ「これも一局」の範疇。

10. d4 Bd7 だいたいルイロペスの基本形に到達。黒にも様々な指し方があるが。

11. Nbd2 Re8 12. Nf1 Bf8 13. Ng3 a5 とりあえずナイトをマ

ヌーバーする。

14. a4 Qb8 このあたりから早くも初見。適当かつ厳密にというのがモットーでもあり、慎重かつ大胆にというのがテーマでもある。

15. Nh4 bxa4 16. Bxa4 Qb6 ルイロペスで悩ましいのがd4のポーンをd5と突いて閉じるのか放置しておくのかdxe5と取って開いていくのかと、そのタイミングです。

17. Nhf5 exd4 とりあえずナイトをf5に放り込んでみた。

18. cxd4 Qb4 19. Bd2 Qxb2



Qxb2はクイーンメイトのうっかりだが引いて逃げてるようでは既に白優勢。

20. Rb1 Qa3 21. Re3 Qa2 22. Bb3 Qxb1 早くもこんな所でクイーンが詰んでしまった。驚いた。局面的には必勝なのだが。

23. Qxb1 g6 24. Nh4 Nxd4 25. Bc3 Nxb3 これだけの戦力差ならNやBの1つや2つ捨ててもキングに迫ればだいたい勝つのだが慎重になりすぎたきらいはある。

26. Qxb3 a4 端パスポーンの対処

に悩まされることに。持ち時間が無くなってきて焦る。

**27. Qc2 Bg7 28. Rf3 a3 29. Rxf6 a2 30. Kh2 c5 31. Rxd6 Bxc3** Rxd6は差を縮めた悪手。e5やNxc6などとすればクイーンが消えることなくキングに迫れるのでまだ黒勝勢。

**32. Qxc3 a1=Q** 遂に端のポーンがクイーンと交換になってしまった。驚いた。局面はまだ優勢だが実戦的には互角みたいなもの。気分的には互角以下。

**33. Qxa1 Rxa1 34. Rxd7 Rc8 35. Nf3 c4** Nf3と受けに回ったのが悪手で互角近くになってしまった。Nf3では受けずにe5からe6と攻め合えば白が勝てるらしい。ナイト2枚の攻めが強い。しかし時間に追われている状況では無理ですね。今度はc筋ポーンが伸びてきて難儀。ドローを覚悟しかねない嫌なかんじになった。

**36. Rd2 c3 37. Rc2 Rb1 38. Ne2 Rb2 39. Nfd4 Rxc2** すぐ取らずRc4と嫌味に迫るほうが良い。本譜とポーン1つ違うエンドになったかもしれない。勝てたかわからない。

**40. Nxc2 Kf8 41. Kg3 Ke7 42. Kf4 Rd8 43. Ke3 f5 44. exf5 gxf5 45. Nxc3 Kf6** 無事にポーンが取りきれたので有利のエンドゲームに突入。だいぶ落ち着きと冷静さを取り戻した。

**46. Ne2 Rb8 47. Ncd4 Rb1 48. Ng3 Rg1 49. Kf3 Ra1 50. Ndx5**



長期戦となった5R 牧野-東野戦

**Kg6 51. Ne3 Ra2 52. Ne4 Rb2 53. h4 h5 54. g3 Rb8 55. Kg2 Rb2 56. Nc4 Rb4 57. Ncd2 Rd4 58. Kf3 Rd8 59. Ke3 Kf5 60. f3 Ra8 61. Nc4 Ra1 62. Ncd6+ Ke5 63. Nf7+ Kf5 64. Ned6+ Kg6 65. Ne5+ Kf6 66. Kf4 Ra5 67. Ne4+ Ke6 68. Nd3 Rf5+ 69. Ke3 Rb5 70. g4 hxg4** どうやっていいのかわからず時間に追われるままにナイトがクルクル動いたりキングが上がったり下がったり無駄な動きを重ねたがg4で遂にポーン交換を決行。まだ2ポーンあればエンド苦手の私でもいけるかと。あわよくばただでポーンを取ろうとしていた。

**71. fxc4 Kf7 72. Kf4 Kg7 73. Ne5 Rb1 74. Kf5 Rf1+ 75. Ke6 Rh1 76. Ng3 Kh7 77. Nf5 (※1) Re1 78. Kf6 Rf1 79. g5 Rg1 80. g6+ Kg8 81. h5 Rg2 82. h6 Rh2 83. Ne7+** なんとかようやくついに勝ち切った。これもまた長い戦いでした。熱戦にはネット対局では味わえないタイプの充実感や精神の高揚や緊張とでもいうのが要するに様々な感情の揺れや動きがあります。リアル大会の醍醐味です。

(※1) 編集部注 77. Nf5について

77.Nxh1とルークがタダ取りできる場面だったため、見落としなのかどうか確認したところ、対戦相手の東野さんより「ああ、しっかり覚えています(笑)時間攻めしていたので、指した瞬間ルークがタダだったことに気づきました。牧野さんも私のキング周りしか見ていなかったの、気づかなかったと思われます。」とご返答いただきました。

## 6 R 山田戦

山田さんはチェス連盟のYouTubeでいつも拝見しておりました。

この対局の1週間前に中四国選手権に参加しまして大会終了後にブリッツで指して頂きました。

トップ3ボードまで中継されていたので3ボードまでに入るのを密かに目指したが最終戦は4ボードであった。

**1. e4 e5 2. Nf3 Nc6 3. Bc4 Nf6** イタリアン。パスタは麺類の中では3番目か4番目に好きですね。サイゼリヤでワインをガブガブ飲みながらチェスを指すこともあります。

**4. d3 Bc5 5. c3 d6 6. O-O a5** a5は少数派だと思うが1週間前に指し



て頂いた時はa6から後々 Be6とぶつけるようなイタリアンのメインライン風(?)の手順を指したので違う形をやってみようかと思い、確かカールセンが指していたのをYouTubeで観たような記憶があったのでやってみた。

## カールセンに憧れる男の狂詩曲

さあおいでマグヌスちゃん

僕の膝でお眠り

君のルイロペスは

僕の脳髄で眠っているわ

ナイトが無いと夜も眠れぬ

マヌーバーしてほほいのホイ

7. Re1 O-O 8. h3 Ba7 9. Bb3 b5  
10. a4 b4 11. d4 h6 12. Be3 Bb7  
13. Nbd2 Re8 14. Qb1 Qd7 全て  
の駒展開が完了した。気付いたらルイロペスからも出現しそうな形になっていた。

15. Bc2 d5



ここでどう指すかわからなくなり残り時間を全投入しd5と突いたが時期尚早で悪くなりそうな感覚があった。ここはbxc3 bxc3 exd4と局面を動かしてほほいの互角の形勢

のようだ。cxd4にはNb4と跳ねれるのがポーンを交換して局面を開いた効果。見えなかった。

16. dxe5 Nxe5 17. Nxe5 Rxe5 18. Bxa7 Rxa7 19. Nf3 Re8 20. e5 Ne4 21. c4 Ng5

時間に追われて指したNg5は良くなくNc5ならe6に利いているのが大きく互角で耐えているようだ。

22. Nxc5 hxc5 23. Qd1 d4 白はQd1に代えてBf5からe6としたほうがよかった。この順が見えた時は嫌な予感がした。

24. Qd3 g6 25. e6 Rxe6

白はe6に代えてQg3などとゆっくり指したほうがよいらしい。本譜はほぼ互角の形勢。

26. Rxe6 Qxe6 27. Qxd4 Ra8 28. Rd1 Re8 29. Bd3 Qc6 Bd3はミスで端のポーンが落ちて黒が優勢になった。

30. Bf1 Qxa4 31. Rd3 Qc6 32. Rg3 Qd6 33. Qa7 Re1 34. Qxb7 Rxf1+ 35. Kh2 Rxf2 大きなミスをしない限り勝ちのエンドゲームになっていて驚いた。

36. Qa8+ Kg7 37. b3 Rb2 38. Qf3 c5 39. Qe3 Rb1 40. Qf3 Qe5 41. Qd3 Qe1 42. Rf3 Qh1+ 43. Kg3 Qe1+ 44. Kh2 Qe5+ キングを追い回してメイト狙いつつ駒得or駒交換を目指していこうかと思ったが、ややこしいので思い直して冷静

に駒交換を目指すことにした。

45. Rg3 Rb2 46. Kh1 Rb1+ 47. Kh2 Rc1 次のRc3から交換を目指す手が受からない。

48. Qd5 Qxd5 49. cxd5 Kf6 50. d6 Rd1 なんとか勝ち切れた。一月から大会に参加してきた中で今大会が一番面白かったような気がします。全体的にまずまずでした。まだまだですが。全日本でも強豪選手との対戦を目指していきます。

今回の持ち時間30分では常に時間に追われて大変ですが、全日本では長くなるのでその点も楽しみであり未知数なところでもあります。当たった方はいかがでしょうかお手柔らかによろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。失礼します。

※vsや研究会やネット対局をして下さるような方ありましたら [makino416@gmail.com](mailto:makino416@gmail.com) まで連絡下さい※

### 編集部より

牧野さんは今年、西東京選手権が5位/29人参加、愛知県が10位/16、千葉が4位/29、中四国が2位/6と地区予選に次々と出場されました。東京選手権の後も大阪場所(4月2・3)で2位/22に入られました。この結果、レーティングが、西東京(2月6日)出場時点では1576でしたが、東京チェス選手権を反映した4月1日付けリストでは1951です。さすが、将棋のプロ棋士ならではの急上昇で、この先、どこまで高みに登るか、目が離せません。

# Tournament Report

大会レポート

## 全日本チェス選手権地区予選大会 各地区予選レポート

### 西東京チェス選手権 2022



**【日程】**2022年2月6日(日)

**【形式】**スイス式4R 持ち時間30分  
+30秒/手

**【参加人数】**28名

**【入賞者】**

**オープン**

1位 Tran, Thanh Tu

2位 小島 慎也

3位 坂井 延寿

**U1600クラス**

1位 Wijaya, Tony

2位 牧野 光則

3位 青木 康祐

**【レポート】**

2022年2月6日(日)、立川女性総合センター「アイム」にて全日本チェス選手権地区予選2022の西東京チェス選手権2022が開催されました。形式はスイス式4ラウンド、30分+30秒/手のNCSスタンダードの公式戦でした。大会の詳細が3週間前の1月15日に発表されたにも関わらず、28人のチェスプレイヤーが立川に集まりました。参加者から既に日本選手権のシードを得た者を除き、

6人につき1人(端数切り上げ)+地元枠から1人が上位から選出されます。今大会からは5人+西東京から1人が選出されます。

スタート順位を確認したところ、リストトップは2020全日本チェスチャンピオンのCM Tran, Thanh Tuさんでした。それに続きIM小島慎也さんスタート順位2位だったため、この2人の対局が立川で実現されるか気になってました。それ以外にも1600~2000のプレイヤーやアンダーレイテッドの方々が多く、西東京は激戦区だと思いました。

3Rまで全勝同士の小島-Tran戦がドローでしたが、2番3番ボードは2.5ポイント(pts)のプレイヤーが負けてしまいました。

こうして4回戦も無事終了し、CM TranさんとIM小島さんが3.5pts/4で同率1位となりましたがTranさんのタイブレークが良かったため今大会優勝者となりました。3位は3pts/4で5人並びましたがタイブレークで一番上の坂井 延寿さんが3位入賞しました。

U1600の入賞者は全員3pts/4でした。タイブレーク順にWijaya, Tonyさん、牧野 光則さん、青木 康祐さんがU1600の1位2位3位でした。

全日本選手権へのシード権を獲得されたのは(タイブレーク順)坂井 延寿さん、Wijaya, Tonyさん、牧野 光則さん、青木 康祐さん、神田 大吾さんの5名でした。西東京枠から山田 幸浩さんがシードされました。(中川 晟志)

### 愛知県選手権大会 2022

**【日程】**2022年2月13日(日)

**【形式】**スイス式4R 持ち時間30分  
+30秒/手

**【参加人数】**16名

**【入賞者】**

1位 Scott, Tyler

2位 鈴木将照

3位 Tsogt-Ochir, Bold

**【レポート】**

Chess in Japan(P.32)をご覧ください。

### 千葉選手権大会 2022年



**【日程】**2022年2月26日(土)-27日(日)

**【形式】**スイス式6R 持ち時間30分  
+30秒/手

**【参加人数】**27名

**【入賞者】**

1位 野口 恒治

2位 小川 トミー

3位 坂井 あづみ

敢闘賞 牧野 光則

殊勲賞 上原 純

アップセット賞 飯塚 弘(2度)、高



木 秀和、千綿 駿平

### 【レポート】

2月26日(土)-27日(日)に千葉市民会館にて開催されました。スイス式6ラウンドで持ち時間30分+30秒。主審は小笠誠一、副審は林隆徳が務めました。

入賞者は上記のとおり。全国大会シード権は小川トミー、斎藤寛将、中川晟志、黒田裕之介、永井斗志之と高木秀和(千葉梓)が獲得しました。

当初申し込み人数が34人あったにもかかわらず、コロナの影響、またロシアのウクライナ侵攻により肉親がウクライナにいてということで取り消された方々がいました。

千葉選手権は今年で6回目になります。まだ日本チェス協会の時代は首都圏で開かれる地方予選は協会が主催する百傑戦だけでしたが、そこになんとか風穴を開け、首都圏内で初めての全国大会の予選「千葉選手権」を開くことが出来ました。その時のアービターが前代表理事のヒーバート由美子さんでした。それから3回目の2019年の大会はNCSにとっても記念すべき大会となりました。NCSが創設されて初めての大会だったからです。そして何よりも千葉でシード権を獲得しチャンピオンになった人がこれまでに2人(野口恒治さんとTran, Thanh Tuさん)も生まれたことも特筆すべきことでしょう。今年の6人の中からチャンピオンが生まれるかもしれません。(千葉チェスクラブ 小笠誠一)

## 中四国選手権2022

【日程】2022年3月12日(土)-13日(日)

【形式】ラウンドロビン5R 持ち時

間40分+30秒/手

【参加人数】6名

【入賞者】

1位 大西 弘祐

2位 牧野 光則

3位 赤井 清隆

【レポート】

2022年3月12日(土)-13日(日)の2日間、広島県広島市にて中四国選手権2022を開催しました。せとうちチェスクラブ発足以来初のOTBイベントの開催でしたが、無事開催できたことにまずは安堵しています。

広島の2名を含め西日本から5名、東京から1名のプレーヤーに参加していただき、5Rのラウンドロビンを行いました。

大会は、牧野さんと大西さんが3連勝同士で第4Rに激突。黒番ながらポーンを捨てて積極的に主導権を握った大西さんが勝ちきり、優勝と全日本選手権の出場権を勝ち取りました。

地元広島からは今大会最年少の松田さんがNCS公式戦に初参戦。OTB未経験とは思えない集中力で熱戦を繰り広げてくれました。

せとうちチェスクラブではまた例会、大会等のOTBイベントを開催予定です。不定期ですがオンラインでの活動も行っていますので、興味のある方はぜひお越しください!(せとうちチェスクラブ 山田弘平)



## 兵庫選手権 神戸大会 17th



【日程】2022年3月13日(日)

【形式】スイス式4R 持ち時間35分+30秒/手

【参加人数】15名

【入賞者】

1位 富井 義括

2位 Takayasu, Melody

3位 井出 大輔

4位 岡田 充弘

【レポート】

2022年度の兵庫選手権神戸大会17thが3月13日(日)に開催されました。大会には15人もの方々が参加してくれました。

優勝者は富井義括さん、2位は高安メロディーさん、3位は井出大輔さん、4位は岡田充弘さんでした。それぞれ豪華チェスセットやトロフィー、チェス書籍などが進呈されました。

入賞者のベストゲームを挙げてもらいました。富井さんはドローになった岡田戦。メロディーさんはシリアンの展開になったFlipi戦で、中盤戦は巧妙かつ大胆な展開になりました。井出さんは逆転勝利を収めた岡田戦。岡田さんは異色Bの優勢局面で読み切れなかった井出戦をそれぞれ挙げられました。

今大会ではスイスマネージャーに苦労したことや、加古川の将棋のメ

ンバーが何人も参加してくれたこと、そしてみなさんが頑張ってくださって大会が成立したことがとても印象深い大会となりました。

全日本選手権のシード権は富井義括、岡田充弘、Carlson, Nilsと吉澤和史(神戸粹)が獲得されました。おめでとうございます。(岡田 充弘)

## 2022年度北海道チェス選手権大会(第28回)



**[日程]** 2022年3月26日(土)-27日(日)  
**[形式]** スイス式5R 持ち時間40分+30秒/手

**[参加人数]** 12名

**[入賞者]**  
**オープン**

- 1位 小島 なつみ
- 2位 木村 遼太
- 3位 杉本 公一

**Aクラス**

- 1位 川村 卓人
- 2位 Pradipta, Davi Ernest
- 3位 西森 敏之

**Bクラス**

- 1位 奥野 凜音
- 2位 竹内 浩
- 3位 下村 憲政

**[レポート]**

札幌チェスクラブ例会常連メンバーは高齢者が中心ということもあり、

今年は2名の引退、大会直前にけが人、発熱者が出るなど参加人数があやぶまれました。蓋を開けてみると、札幌メンバーは6名でしたが、東京2名、千葉県、淡路島、旭川、函館(インドネシアからの留学生)各1名の計12名の参加がありました。

試合は2R終了時で全勝は小島なつみさんの1人だけとなりました。3Rも小島さんが勝ち、3R終了時点で、2.5ポイントの木村遼太さん、奥野凜音さんが追います。奥野さんはジュニア選手権に備えての参加で、NCSレーティング1167と低いものの、USレーティングは1900位という実力どおりに3Rでトップレーティングの相手に勝ち。4Rで小島さんと木村さんの対戦は、木村さんが勝ち、トップが交替します。3.5ポイントだった奥野さんは、竹内さんに負け優勝争いから脱落します。最終ラウンド(5R)、木村さんが負け、小島さんが勝ち、小島さんが優勝を決めました。(札幌チェスクラブ 杉本公一)

## チェス日本選手権予選 大阪場所



**[日程]** 2022年4月2日(土)-3日(日)  
**[形式]** スイス式6R 持ち時間45分+30秒/手

**[参加人数]** 22名

**[入賞者]**

- 1位 Andoy, Jerwell
- 2位 牧野 光則
- 3位 高島 文治
- 4位 Takayasu, Melody
- 5位 井出 大輔

**[レポート]**

今回、大阪の予選会は、参加者にチェスを堪能してもらえるように2日間で6Rという日程を組み、参加者が奇数の場合に備えクラブリーダーの高島氏をBye要員として参加してもらう態勢で開催することになりました。ただ、いくつかのラウンドで不戦敗になる人が出たため、そのラウンドにプレイできなくなった人が出たのは少し残念でした。大会はTDの横尾氏の適切な采配によりつつがなく進行していくことが出来ました。優勝争いの山場は4Rの牧野-Andoy戦で、最近絶好調の牧野氏を今大会レーティングNO.1のAndoy氏が止めることができるかどうかというのが見どころでしたが、レーティング上位者の貫禄でAndoy氏が4連勝となりました。その後まだ2ラウンド残っていましたが、上位2名は星を取りこぼさずにワンツーフィニッシュになりました。高島氏は最終ラウンドにゼロポイントのByeがありましたが最終4ptsで3位となり、4位には同じく4ptsで、今大会紅一点の高安メロディ氏となりました。ここまではスターティング順位と同じでした。4ptsはあと2人いましたが、タイブレークの関係で井出氏が5位になりました。今回は外国人や遠方からの参加者も多数あって賑やかで楽しい大会でした。(高安 信行)



## 神奈川選手権2022



**【日程】**2022年4月2日(土)-3日(日)

**【形式】**スイス式6R 持ち時間45分+30秒/手

**【参加人数】**18名

**【入賞者】**

1位 若森 毅士

2位 中村 尚広

3位 前嶋 啓彰

**【レポート】**

本大会は我々の知る限り神奈川県初の地区大会であり、記念すべき第一回神奈川選手権となりました。開催地は横浜の赤レンガや山下公園のすぐ近くで、対局時間以外は散歩でリフレッシュできる絶好の場所でもあります。

45分と長めの持ち時間で2日制という、地区選手権としては本格的であることも本大会の特徴だと思っています。NCS公式棋譜用紙の使用、高いグレードの賞品盾など、参加者がモチベーション高く対局を行えるよう配慮して開催しました。当日は賞品盾を会場に飾って進行したのですが、参加者から盾がかっこよいというコメントを多数頂き、対局のモチベーションに繋がっていると感じました。

対局内容に関しては、持ち時間が長いおかげか全体的にエンドゲームまでもつれ込む白熱した対

局が多かった印象で、当日はスタッフである我々が見入ってしまう対局が多数ありました。神奈川選手権に相応しい大会だったと思います。(川崎チェスクラブ 安野直樹)

## Divine Chess Gurukul Japan Chess Championship Qualifying Tournament



**【日程】**2022年4月3日(日)

**【形式】**スイス式4R 持ち時間15分+10秒/手

**【参加人数】**10名

**【入賞者】**

1位 小川トミー

2位 篠田 太郎

3位 上原 純

**【レポート】**

Divine Chess Gurukul held the Japan Chess Championship Qualifying Tournament, in Seishincho, Edogawa ku.

We are a new born club in Tokyo, but within 6 months of our inception, we have generated GHS Open Chess winners and players who have qualified for the National Championship. This club is seeded in Divine Gurukul

and innovative educational philosophy in which we discover the joy of learning.

We had players from 5 years old to 2150+ rated players!

Ambient was relaxed and friendly and default language was English, unlike other tournaments in Japan. Some even commented that it feels so different, as if it's a foreign tournament! (Praveen Bhatia)



# Interview

## インタビュー

### 小島 慎也さん

#### チェスをしたい人にもっと気楽に選択肢を与えられるように

こじま・しんや

1988年生まれ。麻布学園チェスサークルにて本格的に競技としてのチェスを始める。2004年、当時高校1年生で全日本デビュー。翌05年には全日本チェス選手権全国大会優勝(当時の最年少記録を更新)、以後4連覇。2022年アジア競技大会日本代表内定。



いつもおやつはコーヒーゼリーが定跡(撮影:小島なつみ)

大学卒業後、前人未達の日本人チェスプロプレーヤーとしてのキャリアを積んできた小島慎也さん。日本でチェスをフィールドにプロとして生きる道を選んだ彼に、チェスを仕事にして生きていくと決めた時のこと、そしてこれまでの道のりとこれからのビジョンについて聞いてみた。

#### チェスのプロになることを意識したきっかけ、時期

割と早い段階から、自分は大学に入って就活をして企業に入ることはないだろうとは思っていました。

高校生の頃からプレーヤーとしてプロの道を選ぶのは無理だろう、とは言われていましたね。日本のチェスを取り巻く環境がそこで経済活動を生み出すまでの規模に達し

ていないこともあります。そういう環境云々の話を抜きにしても、海外に行ってやっていけるほどの実力がなければ、プレーヤーとして食っていくのは無理だろうというのはわかっていました。

それでも何かチェスでできる仕事はないかな?と思い、教えることを少しずつ増やしていく中で、教えることに楽しみややりがいを感じるようになっていきました。

最初アルバイトのような形で始めたときは、自分がどれだけの人を教えられるのか、十分な仕事量になるのかはわかりませんでした。ただ、やっていくうちに、自分が思っていたよりも大きな需要があることに気が付きました。

どのようなチェスの仕事をする

かに関わらず、仕事をする上では苦手なところを克服していくよりは得意なところを武器にしていく方がうまくいくと思っています。

世界でも、純粋に競技者として生計を立てているチェスプレーヤーは数少ない。GMのタイトルをもってしてもチェスとは別の本業があったり、プレーヤーとしての活動をしつつ、生計はコーチングや執筆で立てている人の方が圧倒的に多い世界。小島はどんな「プロ」を目指しているのだろうか。

#### タイトルをもつことはプロとして重要?

私は教えることを中心としているプロですが、チェスをプレーするのと教えることは別のスキルです。タイトルが欲しいというのは、



自分のプレーヤーとしての成長のためであって、それが仕事に生きるだろうと考えて取ったわけではないですね。

ただ、教えることとプレーヤーの強さは別物だとはいつつ、そういう（プレーヤーとしてタイトルを獲得する）活動を通して自分のことを知ってもらうことに繋がります。

始めたばかりの頃は自分でもよくわからなかったし、最初から自分の武器（得意なところ）を認識して仕事をしていたわけではないのですが、やっていくうちに、自分はこういうのできるのかな？という成功とともに自信がついていき、もっと多くのこと、大きなことができるようになってくる。そのような形でトライするのがいいのかな、と思っています。

## チェスを仕事にしていると思うことは？

教える向き不向きはもちろんですが、他の人と違うことをすることへの向き不向きがあるんですね。「他の人と違うことをして大丈夫なの？」と思い始めてしまったらできなくなってしまいます。私は割と楽観的な方なので、そういうことを思ったりしないんですが（笑）。

自分の武器を理解することが大事といった話と同じで、まず自分がどういう思考タイプなのかを理解することも大事。きっちりやるタイプなのか、そうでないのか。自分の思考タイプやスタイルを理解できていないで周りに合わせていくだけだと、大きなストレスがかかってしまい、その結果、長く続けられなくなってしまいます。

いろんな人がいるので言い切れませんが、私は「人はなんとでもなる」と思っています（笑）。

当時、日本人の誰が最初のIMタイトルを獲得するのかという注目が高まっていた中、日本人初のIMというダブルタイトルを手に入れたのは南條遼介さんだった。プレーヤーとしての次の目標はGMタイトル獲得だと思うが、いつまでに取るといった計画や考え方はあるのだろうか？

## IMタイトル獲得当時のエピソード

自分はわりと安定しているタイプですが、南條くんは当時爆発的な力を発揮してIMになりました。もちろん自分が一番最初になれたらいいだろうとは思っていましたが、それに固執していたわけではないです。彼が一番最初にIMタイトルを取ったことで、自分も負けていけないと思ってそのあとすぐにタイトルを取れたこともあり、よかったんじゃないかなと思います。

でも、それは中継地点でしかないの、もっと上を目指していきたいと思っています。

## GMタイトル獲得への計画や意識は？

そういう考え方はしませんね。次の（GMタイトルを取る）目標を立てる方が本当はいいのかもかもしれませんが、私はそのような目標の立て方をしないんです。次に全日本があるから、次にあの大会があるから、という形でそれに合わせた意識をしない。目の前のことや、そのときそのとき面白いと思ったことをやっている感じです。

## これまで不安はなかった？

大学を卒業して仕事に就いているわけでもないのに、さらにハンガリーに行ってもうまくいかなかったらどうしようという不安がありました。

学生のうちはトライしてうまくいなくても学業が本業だからといえる部分がありますが、その枠から放り出されたあと、いよいよどうするのかとなって、自信ないからIM（獲得のためのチャレンジ）しませんとも言えず、頑張りたいですねーと言いながらやってみて全然うまくいかない不安。

そういう1年を過ごししながら、イギリスのNigel Shortを招いたイベントを羽生さんと開催して。兄や兄の友人たちと運営をして、できると思っていなかったようなイベントを開催したことで、わかんなくてもとりあえず「えい！」っとやってみないといけないもんなのだな、と思いました。

IMタイトル取得のためのハンガリー一遠征も、ずっとビビって行かなかったらそれこそどうしようもない、と出発を前にして思うようになりました。なるようになったり、やってみて自分の理想通りにならないこともあるだろうし、やってみてうまくならなかったところは次どうすればいいか、理想通りでなかったとしてもその中でうまくいったことを吸収していけばいいんじゃないでしょうか。

チェスの試合中、指す手に頭を悩ませて、結論が出ないで時間が落ちてしまっはしょうがないので、どっかで思い切ってえいっと踏み切る。そういうのが盤上でもそうでないところでも必要なのかな、と思います。どういう舞台でいつどう

やって踏み込むかを自分で決めること、自分の責任で決めることが大事ですね。

### 小島さんを象徴する試合は？

自分らしく、というわけではないかもしれないが、思い出に残っているのは6年前の全日本での馬場雅裕さんとの試合。

私はポジショナルプレーを主体とした、丁寧に積み上げて、相手に何もさせないことを目標にしているんですが、その年の全日本はあまり良くなく、最終戦で「馬場さんにまだ当たってなかったの？ここでポイントを落としたりいやだな」と思う中で、そこでちょっとスタイルを変えてみたんです。そういう思い切ったことができ、それがうまくはまったゲームで。自分のスタイルを象徴するというのとは違うけど、こういうことも自分ではできるんだという気持ちになったゲームでした。

時間が来たのでそろそろインタビューも終了、となったところで「まだ言い足りないことがある」と、小島さんご本人から、日本のチェス界へのメッセージをいただいた。

### 最後に伝えたいこと

私は2006年、17歳のときから日本の代表ですが、前回のオリンピック2018年のとき、12年ぶりに高校生（大多和優斗君）が代表に入りました。高校生が日本代表の座を勝ち取るというのは久々のことで嬉しかったです。

私たちの世代は強い選手がいて、刺激しあってこれたのはよかったなと思っています。でも、トップとしてやっていて、仕事としてやっ

きながら思うのは、ずっとそれ（自分たちがトップに居座る）ではいけないな、と。もっと下から脅かして、おじさんたちどいて！というくらいの勢いが欲しい。それは、簡単には渡さないよという気持ちと、これから代表を担うような人たちが出てこないはずいでしょという気持ち。

教えている子供たちが将来日本の代表に入るかはわからないけど、みんながこれからどうなっていくかというのはすごく楽しみだし、相反するような（代表の座を渡さないという気持ちと自分たちから代表の座を奪えないとだめだぞという）気持ちを持ちながら、プレーしたり、教えたりしています。

私が強くなりたいと思っていた子供の時、IMの先生に習うという選択肢などなかった。もちろん海外のコーチに英語で習うことはできたかもしれませんが、それだけでハードルがあがってしまいます。なので、チェスをしたと思った人にもっと気楽に選択肢をあげられるような日本のチェス界であってほしい。そういう気持ちでチェスの仕事をしています。

子供たちに教えていく上では、楽しさも、上達への道も見せていきたい。私がプレーヤーとしている姿を見て、自分でもそういう風になれるんだ、と。誰もやっている人がいない中で飛び込むのはさらに大変だと思うので、チェスのレベルにおいても、日本人でもそういう風になれるんじゃないかと、若いプレーヤーの目標として見せてあげたいな、と思っています。



# 名プレイヤーから学ぼう

## Learn From Legends

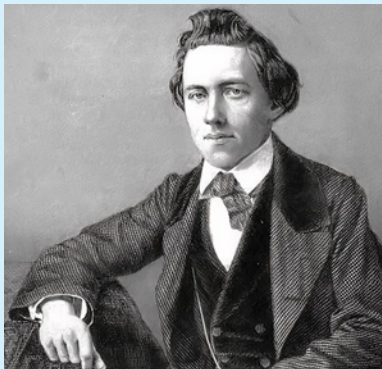
### vol.1 Paul Morphy

#### Paul Charles Morphy (ポール・チャールズ・モーフィー、 1837-1884)

19世紀を代表するアメリカのチェスプレイヤー。若い頃から非凡な才能を発揮し、12歳のころにはヨーロッパの強豪マスターであるLowenthalにマッチで勝利したと伝えられている。19歳で法律の学位を取得した後、仕事につくまでの約2年間でアメリカやヨーロッパのトーナメントを転戦し、後世に残る数多くの名局を残した。

実際に仕事を始めてからは、チェスの競技シーンに戻ることはなかった。しかし仕事はうまくいかず家族の財産で暮らすようになり、わずか47歳という若さで亡くなった。

チェスキャリアは短かったものの、当時の強豪プレイヤーをいとも簡単に負かしてしまう傑出した実力を持っており、しばしば非公式の世界チャンピオン、歴史上最も才能があったプレイヤーの一人として紹介される。



みなさん、こんにちは。山田弘平です。NCSマガジンの創刊に伴い、新たな連載を始めることとなりました。古典を紹介するというコンセプトはそのままに、歴史上の名プレイヤーに焦点を当てた連載としていこうと思います。

よく言われることですが、GMはチェスの古典や古典に出てくるパターンをよく知っています。過去の名プレイヤーたちがどのような局面でどのように指してきたかを学ぶことで、自分のプレーの質を高めているのです。特に世界チャンピオン経験者であるKasparov、Kramnik、Carlsenなどは古典に詳しいプレイヤーとして有名ですね。

この連載ではなるべく有名で、その後のチェスの指し方に大きな影響を与えた人物を取り扱っていこうと思います。その人の指し方を勉強し真似することで、現代チェスの基礎が身についていく、そんな連載を目指していきます。YouTubeで配信している講座と合わせてお楽しみいただければうれしいです。

最初に紹介するのは、19世紀に活躍したプレイヤー、Paul Morphyです。彼の最も有名なゲームである「オペラ座のゲーム」は皆さんも一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。

冒頭で紹介した通り、Morphyは

#### 【文】山田 弘平 (やまだ こうへい)

1988年北海道生まれ。FIDEマスター/FIDEインストラクター。国内大会の優勝、日本代表経験あり。日本初のスポンサードプレイヤーとして活動する一方、オンライン講座で普及活動も行っている。



同世代のプレイヤーと比べてまさに別格の強さを誇っていました。今でも「史上最強プレイヤーは誰か？」を議論するとき、必ず名前が上がるプレイヤーです。才能は彼が一番だ、いやいや当時の相手が強くないのでそう見えるだけだ、などと議論が盛り上がるわけですが、現代のマスターと比較されること自体がMorphyのチェスの素晴らしさを証明しているといえるでしょう。かのFischerはMorphyを「史上最も正確なプレイヤーであり、現代の指し方を学ぶ時間さえ与えれば、どの時代のどのプレイヤーでも倒せる才能があった」と評しています。

Morphyのプレーで最も特徴的なのは、**素早い展開 (development)**と**オープンライン (open line)**を駆使した攻撃です。これらは1.e4から始まるオープングームを指す上で重要な要素で、オープングームはMorphyによって確立されたと考える人もいます。Steinitzが現代チェスの基礎理論を作り出す以前のことから、Morphyがどれだけ時代を先取りしていたかがわかるでしょう。

現代でも通用する理論的な攻撃を、Morphy自身の正確な読みが支えるわけですから、負ける道理がありません。当時の人にとってはまさに「未来のチェス」に見えたのではないのでしょうか。

今回はMorphyのゲームを題材に、展開とオープンラインの重要性を学んでいくことにしましょう。なぜ、現代チェスでは「ピースを展開しろ」「ピースをアクティブに使えるように配置しろ」と口酸っぱく教わるのか、その理由を感じ取ってみてください。

### Paulsen, L – Morphy, P

#### New York 1857

Morphyは19歳で大学を卒業し弁護士になる資格を手に入れましたが、アメリカでは21歳になるまで法律関係の仕事をすることはできませんでした。そこで若きMorphyは就職までの2年間で国際トーナメントを回ることにしました。そのためMorphyのゲームは、そのほとんどが1857年から1859年に指されたものになっています。

1857年の秋に開催されたNew YorkのAmerican Chess Congressで、Morphyは悠々と決勝まで勝ち進み、当時はまだあまり知られていなかったPaulsen (Sicilian Defenceの定跡に名が残っている名プレイヤーです)と相まみえました。

Morphyはここでも実力の差を見せつけます。当時、持ち時間のルールは整備されておらず、1ゲームあたり10時間以上かかったそうですが、そのうちMorphyが使ったのはわずか1~2時間だったとか！

**1.e4 e5 2.Nf3 Nc6 3.Nc3 Nf6 4.Bb5 Bc5 5.O-O O-O 6.Nxe5**



Paulsen - Morphy 6.Nxe5まで

「取れる駒は取る！」が19世紀チェスでは主流の考え方でした（もちろん現代でも取れる駒は取りましょう!）。6...Nxe5 7.d4!としてナイトを取り返すが白の狙いですが、Morphyは駒を取り返さず、ピースの展開を優先します。

**6...Re8 7.Nxc6 dxc6 8.Bc4 b5!? 8...Nxe4?は9.Bxf7+! Kxf7 10.Nxe4 Rxe4 11.Qf3+で黒が駒損するので、先に白のビショップを引いておきます。**

**9.Be2 Nxe4 10.Nxe4 Rxe4 11.Bf3 Re6** 3段目に引いて将来的なキングサイドアタックを用意します。

**12.c3?**



Paulsen - Morphy 6.Nxe5まで

形よくc3-d4と突こうとしたのが失敗でした。ここはピースの展開を優先して12.d3!が良く、やや白が

優勢な局面です。

Morphyはここから白の展開を邪魔しに行きます。ピースの展開に差をつけるためには、自分のピースを素早く展開することも必要ですが、**相手の展開を邪魔することも重要です。**

**12...Qd3!** この1手でdポーンを固定し、c1のビショップが展開できないようにします。c1のビショップが展開できなければ、両方のビショップを展開できる黒にチャンスがある展開となります。

**13.b4 Bb6 14.a4 bxa4 15.Qxa4 Bd7?!** 白はセンターからの展開ができなくなったことで、クイーンサイドでのプレーに切り替えます。場合によっては、Bb2からc4といった手順で黒マスビショップを活用することも考えられそうです。

黒のMorphyは自然に15...Bd7と展開しますが、15...Bb7!がより正確でした。

**16.Ra2?** 2段目をルークでサポートした手ですが、d3のクイーンを残したままにしてしまったことが致命傷になってしまいました。

ここは黒の邪魔なクイーンを追い払う16.Qa6!がありました。以下、16...Qf5 17.d4! Rae8 18.Be3 c5 19.bxc5 Bxc5 20.Qb7 Bd6 21.c4のように進めば、白が優勢です。この16.Qa6!を防ぐため、黒は15...Bb7!とa6をサポートしておく必要があります。

**16...Rae8! 17.Qa6 16...Rae8で**



黒のピースは展開完了。次に17...Qxf1+ 18.Kxf1 Re1#を狙っています！白はクイーンサイドのルーク、ビショップがうまく機能しておらず、いきなりピンチに陥ってしまいました。正しいマスにピースを展開することがどれほど重要か、わかっていただけるでしょうか？

本譜もピースの働きの差を利用して、Morphyはすぐに試合を決めてしまいます。さて、その決め手は何でしょう？



Paulsen - Morphy 17.Qa6まで

17...Qxf3!! 華麗なサクリファイス！白のピースがディフェンスできない、一瞬のスキをMorphyは逃しません。

18.gxf3 Rg6+ 19.Kh1 Bh3 黒は次に20...Bg2+ 21.Kg1 Bxf3#を狙っていますが、白にはこれを受けるためのピースがありません。

20.Rg1は20...Rxc1+ 21.Kxc1 Re1+でメイトですし、g6のルークを狙う20.Qd3も20...f5! 21.Qc4+ Kf8!で次の手がありません。

本譜はキングが逃げられるようにf1のマスを開けましたが...

20.Rd1 Bg2+ 21.Kg1 Bxf3+ 22.Kf1 Bg2+ 23.Kg1 それでも20...Bg2+が強力です！

23...Bh3+ 23...Be4+ 24.Kf1 Bf5!でも黒の勝ちです。

24.Kh1 Bxf2 25.Qf1 Bxf1 26.Rxf1 Re2 27.Ra1 Rh6 28.d4 Be3 0-1

白はクイーンを捨てましたが、寿命がほんのすこし伸びただけでした。最終手からは、29.Bxe3 Rhx2+ 30.Kg1 Reg2#までのチェックメイトです。

展開に差がつくことで16...Rae8や17...Qxf3のような技がかかったことに注意してください。

次のゲームも派手な手が目立ちますが、ピースを展開することの大切さがよく分かるゲームです。

### Morphy, P – Anderssen, A Paris 1858

1.e4 c5 2.Nf3 Nc6 3.d4 cxd4 4.Nxd4 e6

Morphyはパリに渡った1858年の秋、フランスチャンピオンであったHarrwitzをマッチで下しました。7勝先取のマッチでしたが、Morphyが5勝を挙げたところでHarrwitzが「病気により」棄権してしまったのです。Harrwitzを下したことで、次はAdolf Anderssenとの勝負が期待されました。アメリカからきた弱冠20歳の若者が、ヨーロッパ最強とみなされていたAnderssenとどのように戦うのか、当時の(特にヨー

ロッパの)チェスファンは、きっと期待と怖れが入り混じった複雑な気持ちで見守っていたことでしょう。

世紀の一戦は1858年の12月に実現しました。Harrwitzのときと同じように先に7勝したほうが勝利という条件です。Morphyは最初の1局に敗れたものの、2試合目をドローにし、その後5連勝という離れ業をやったのけました。

気の毒なAnderssenはなんとか若き才能に対抗しようと、様々なオープニングを試し、ついには当時主流な戦法ではなかったSicilian Defenceを投入します。



Morphy - Anderssen 4...e6まで

5.Nb5! 1858年に指されたとは思えない、現代でも立派に通用するオープニングです。5...d6 6.c4 Nf6 7.Nc3とMaroczy Bindにしたり、5...d6 6.Bf4 e5 7.Be3 Nf6のようにSveshnikov variationに変化したりと白黒とも様々な可能性を秘めた形です。

5...d6 6.Bf4 e5 7.Be3 f5? Anderssenは非常にアグレッシブなプレーを得意としており、このゲームでも積極的に白のセンターを崩しにいきました。7...Nf6! 8.Bg5 a6 9.Bxf6! gxf6

10.N5c3 f5!のようにして、多少形が崩れてもビショップペアとセンターへのプレッシャーで黒が戦えるということがわかったのは、チェスの歴史の中では比較的最近のことです。

もちろん、Anderssenの時代ではKing's Gambitが流行していることからわかるとおり、とにかくfファイルを開いてピースを捨てて攻撃するのが強力である、という考え方が主流でした。このような見せかけのアクティブプレーを現代的な考え方で咎めることができたのが、Morphyというプレーヤーなのです。

**8.N1c3!** 相手の狙いに構わず、ピースを展開します。8.exf5? Bxf5 9.N1c3 Nf6のような展開は、黒のAnderssenが望むところ。黒にはショートキャスリングしてfファイルから攻める手や、d5-d4のような強力なアイデアがたくさんあります。

**8...f4** これがAnderssenの狙いですが、Morphyは先に展開したピースがいかに強力であるかを知っています！



Morphy - Anderssen 8...f4まで

**9.Nd5!** ビショップには構わず駒を前に進めます！黒はc6ナイト以外の駒が展開できていないため、戦いになってしまうとキングが危険にさらされてしまいます。

**9...fxe3 10.Nbc7+ Kf7 11.Qf3+?**  
11.Nxa8!がより強力でした。例えば11...exf2+ 12.Kxf2 Qh4+ 13.g3 Qxe4 14.Bg2 Qd4+ 15.Qxd4 Nxd4 16.c3のように進めば、駒得の白がやや優勢です。

おそらくMorphyは黒キングが危険なことから、駒得を選ばずとも攻めきれると考えたのでしょう。しかし、これが黒の強力なカウンターを呼びます。

**11...Nf6 12.Bc4 Nd4! 13.Nxf6+**  
12...Nd4がAnderssenらしい鋭い返し技です。13.Qxe3? Nxc2+は白負けですが、他にクイーンが行きたいマスもありません。よって13.Nxf6+はほぼ強制ですが…。

**13...d5!**これが用意の切り返し。MorphyとAnderssenの読みがぶつかりあいます。

13...Ke7は14.Nfd5+ Kd7 15.Qf7+ Be7 16.fxe3 Rf8 17.exd4! Rxf7 18.Bb5#まで白の勝ち。そこで13...Kg6と指したくなりますが、14.Qh5+ Kxf6 [途中図]に対して15.Ne8+!が好手。この手に代えて15.fxe3は15...Qxc7 16.O-O+ Nf5!で攻めが切れてしまいます。



[途中図] 14...Kxf6まで

途中図から15.Ne8+ Qxe8 16.Qxe8 Nxc2+ 17.Kf1 e2+! 18.Bxe2 (18.Kxe2? Bg4+! -) 18...Nxa1 19.Bc4!と進むと次のQf7+が激しく白勝勢となります。

長い変化手順になってしまいました。結局のところ13...d5だけが唯一複雑な戦いが続く道でした。しかし、黒のAnderssenはこの複雑な道を、次の手で踏み外してしまいます。

**14.Bxd5+**



**14...Kg6?** ここは14...Ke7!と逃げたおけば勝負はどちらに転ぶかわかりませんでした。d5のマスがビショップで埋まったことにより、Nd5+がないのがポイントです。

14...Ke7 15.Ng8+は15...Kd6 16.Qf7 Nxc2+ 17.Kf1 e2+! 18.Kxe2 Bg4+ 19.f3 Nd4+ 20.Kd3 Qxc7と進めて黒優勢。手順中、17...e2+から18...Bg4+でf8のビショップに守りを足すことで



20...Qxc7が実現します。

14...Ke7 15.Qh5 gxf6 16.Qf7+ Kd6 17.Nxa8!が白のベストで、どちらが勝ってもおかしくない複雑な戦いに突入します。この変化では16.Ne8+?が良さそうに見えますが、これには16...Qxe8 17.Qxe8 Nxc2+ 19.Kf1に19...e2+!があります。

本譜の14...Kg6も複雑な戦いで若い相手が間違えることを期待した手ですが、Morphyは冷静に決め手を発見します。

**15.Qh5+ Kxf6 16.fxe3!** おそらくこれがAnderssenの見落とした手です。fファイルが開いてしまえばもう黒キングに受けはありません。わずか17手で「Morphy以前の最強プレイヤー」はリザインに追い込まれました。

**16...Nxc2+ 17.Ke2 1-0**

次のゲームでは77手でAnderssenが勝利するのですが、局後Anderssenは「彼は17手で勝つのに、私は77手だとさ！」と吐き捨てたといえます。マッチは7勝2敗2分でMorphyが勝利し、事実上世界一のチェスプレイヤーとみなされることになりました。

Morphyの前に敵はなし。

もはやMorphyのチェスについていけるプレイヤーはいなくなりました。Morphyはハンディキャップ戦もよくこなしており、キャリアの後半にはハンディキャップ戦以外の試合はしないと宣言した、とも言われています。彼は目隠し同時対局、1手損、ポーン落ち、ナイト落ちなどのハンデをつけながら

も、当時の強豪プレイヤーを手玉にとりました。

## Morphy, P – Maurian, C New Orleans 1857 Knight Odds game



Morphy - Maurian ナイト落ち！

**1.e4 e5 2.f4 exf4 3.Nf3 g5 4.Bc4 g4?! King's Gambitの定跡手順**ですが、ナイトのハンディをもらっている黒としてはもう少し安全に指すべきでしょう。

**5.d4 gxf3 6.Qxf3 d5 7.Bxd5 c6** 白のMorphyはナイトを捨てる代わりにピースを展開し、がら空きのfファイルを手に入れました。この2つの要素がいかに危険か、Morphyは他の誰よりも理解していたでしょう。白は更に駒を捨て、黒のキングを危険に晒します。

**8.Bxf7+! Kxf7 9.Qh5+ Kg7 10.Bxf4 Be7 11.O-O**



Morphy - Maurian 11.O-Oまで

**11...Qxd4+??** この欲張りな一手で黒のアドバンテージは吹き飛びました。キングの周りにポーンがないというのは、見た目以上に危険です。ここは11...Be6 12.Qe5+ Nf6 13.Qxe6 Rf8のように、多少駒を返してでもキングの安全性を高めるべきでした。

Morphyは縦と斜めのオープンラインを最大限に活かし、華麗な攻めを始めます。

**12.Kh1 Qxe4 13.Rae1! Qg6** こうなってみると、b1のナイトがないことすら白の有利に働いていますね。さて、Morphyの決め手を見つけれられますか？



Morphy - Maurian 13...Qg6まで

**14.Rxe7+!! 14...Nxe7**には15.Bh6+ Kg8 16.Rf8#までです。すべてのピースを使い切った美しい攻撃ですね。

**14...Kf8 15.Bd6 Nf6 16.Rxf6+! Qxf6 17.Qe8# 1-0**

ここまで、Morphyの特徴がよく現れたゲームを見てきました。Morphyがピースの展開に細心の注意を払っていること、オープンラインを活かして相手のキングを仕留めきる正確

## NCSチェス講座 ～Learn From Legends～ Vol.1 Paul Morphy



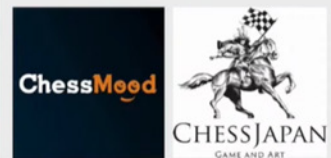
ポール・モーフィー (アメリカ)  
1837生 1884没  
非公式世界チャンピオン



FM Yamada Kohei

OPENREC.tv

CHEJEWEL  
ARITA JAPAN



@Chess\_Society #チェスjp

日本チェス連盟

無比な読みの能力を持っていることを少しでも感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

Morphyのゲームから得られる教訓は、現代チェスの基本になっています。「序盤はピースを展開すること」、「同じ駒を二度動かさない」、「ルークはオープンファイルに回すこと」などなど…。基本を学んで忠実に実行すれば、少なくともゲームが始まった途端に華麗な攻撃を決められてしまうことは少なくなるはずです。

もし、相手が基本を破ってきたらどうでしょうか？その時はMorphyのように、素早く駒を展開し、相手キングの周りにオープンラインを作ってみましょう。Morphyのように華麗に勝てなくとも、十分な主導権を得ること

ができるはずです。

さて、今回は19世紀のチェス（ロマン時代と呼ばれることもあります）の代表的プレイヤーであったMorphyのゲームを紹介しました。この後、初代公式チャンピオンSteinitzの登場で、チェスに「ポジショナルプレー」の概念が導入されます。

次回はポジショナルプレーの導入によって、チェスの質が変わってきた時代の名プレイヤーを紹介したいと思います。連載に対する感想やご要望は、ぜひ編集部にお寄せください。

それでは、次回もお楽しみに！

関連動画：

[【NCSチェス講座】名プレイヤーから学ぼう！ Vol.1 Paul Morphy](#)

URL: <https://youtu.be/sABVlVIRxVc>



# チェス大会 【文(初回)】 上杉和哉

## in アメリカ

- 全米高校チャンピオン / FIDE マスターへの軌跡 -



全米高校選手権で優勝した晋作と長年競い合った仲間

晋作が初めて参戦したトーナメント大会で初勝利した記念写真



チェス大会 in アメリカは、私の家内・上杉賀子(まさこ)が息子・晋作(しんさく)が2002年から2010年にアメリカで参戦した公式戦全180大会の様子をまとめたレポートです。

日本チェス界の将来を担うジュニアプレーヤーにいつも温かい愛情を注ぎ、その活躍を応援していた家内でしたが、6年前病気で他界しました。このレポートはライフワークとして亡くなる直前までまとめていたものですが、日本チェス連盟(NCS)が新たに設立され機関誌を発行する際に連載のお話を頂きました。ジュニアの皆さん、その保護者や指導者の皆さんのご参考になれば家内の生前の意思にも沿うものだと思います。時代も一昔前のもので情報も古くなっていたり、チェス以外のアメリカ生活の内容も含まれていたりしますが、その辺はご容赦頂ければ幸いです。

晋作は2007年全日本選手権において高校1年生で史上最年少の全日本チャンピオンとなり、2008年ドレスデンで開催されたチェスオリンピックに日本代表で出場しました。2009年にはチェス日本国籍で最年少のFIDEマスターになり、2010年には全米高校選手権で優勝し全米チャンピオンとなりました。

一見すると華やかな経歴に見えますが、チェスを始めた当初は親子共々そうなることを夢にも思わず、期待もしていませんでした。晋作が小学校2年生の時に家族で渡米し、現地校で英語も分からない不安を抱えた学校生活を始めましたが、そんな中、英語が出来なくてもチェス

なら友達が出来るとはという動機で始めました。

その後、チェスのお蔭で晋作の歩みは大きく豊かに変わりました。その様子を朝日新聞の作文コンクールで晋作が書いた文章で紹介させて頂きます。チェスワールドの素晴らしいさを感じて頂ければ幸いです。

### 「チェスと出会って」 ワシントン日本語補習校中学3年 上杉晋作

2005年、アメリカに来て5年のこの年は、僕にとって忘れられない年だ。僕は中学1年でメリーランド州中・高校生チャンピオンとなり、全米チェスナンバーワンの大学特待生の資格をとった。

これを機会に、チェスクラブのコーチを頼まれたり、全日本選手権に推せんされたり、そしてついには20歳以下のチェス世界チャンピオンを決めるイスタンブールでの世界ジュニア選手権に中学2年の僕が日本代表として出場と、どんどん舞台が大きくなった。

小学校に放課後チェスクラブがあることがわかったのはアメリカに来て1年半後。まだESOL(注釈:英語を母国語としない生徒を対象としたクラス)の生徒だった僕は英語が苦手だった。が、チェスは英語を話さなくてもできそうだったので入ってみた。入部当初1度だけ先輩に負けたが、それ以降は負け知らず。グランドマスターを何人も育てたロシア人コーチのレッスンに誘われた。それから半年後、初めてトーナメントに出場。全米学年別選手権6年生の部で2位。大人の大会で

も、このあたりでは顔を知られるようになった。そして2004年、メリーランド州中・高校生のチャンピオンを決めるベスト16選抜大会に6年生ながらトップランキングで出場するまでになった。

大学奨学金がかかっているだけに、特に高校生たちの気迫はすごかった。トップランキングのため、ステージ上で僕の一手一手が大きなチェスボードで皆に見られる。高校生の強敵にというよりも精神的プレッシャーで自分自身に負けてタイトルをとることができなかった。身も心もくたくたになりもうチェスをやめようと思った。

だが、アメリカに来て僕に自信をくれたチェス、全米中にたくさんの友人ができたチェス、あきらめずにもう少し頑張ってみようとして続けて1年後、チェスは世界へ羽ばたく夢をくれた」

チェスの活躍で地元紙の一面に記事が載った晋作



アメリカではチェスは子供達に、ロジカル&クリティカル思考、創造性を養い、集中力、記憶力を高め、問題解決能力を発達させる。そして生涯の友人、仲間を作ると言われていて、親がこぞってやらせたがります。読者の皆さんの周りにチェスに興味を持つお子さん、子供にチェスをやらせてみたい親御さんがおられましたらぜひ声を掛けて下さい。そしてこの素晴らしいチェスワールドに誘ってあげて下さい。きっとその子の人生は豊かになりますよ。今皆さんが経験されているように。

# アジア大会代表選考会

2022年3月26日(土)~27日(日)

東京都大田区池上会館 / 5名 / ダブルラウンドロビン10R



本年9月11日~14日に中国で開催される杭州アジア競技大会のチェス競技に、男子2名が派遣されることとなり、代表選考会が開催されました。

試合形式はアジア競技大会本番と同じ25分+10秒/手のラピッドゲーム。参加者5名全員がレーティング2100点以上で、国内ではおそらく初めてとなるダブルラウンドロビン形式(全員と白黒1回ずつ対戦)の大会となりました。大会前日にはオンライン形式で組合せ抽選会が行われ、全てのラウンドのペアリングが決まりました。

いよいよ大会当日です。選考会という大会の性質を考慮し、2つのボードに一人ずつアービターがつき、また動画配信用の電子ボードやカメラもセットされ、否が応にも緊迫したムード。組合せも予め決まっているので、選手も十分にプレパ

レーションして臨んでおり、序盤から一手一手に緊張が走ります。初日の一巡目を終えたところで、ドローは1局のみ、IM小島3.5pts/4、FM山田3.0ptsのマスター2人を小林が2.5ptsで追う展開となりました。

2日目、8Rでは小林と対戦したFM山田が白番で序盤から主導権を握り、ナイト2つを連続して跳ね出す華麗なタクティクスから短手数で押し切り、一つ目の代表枠を勝ち取りました。9Rでは小林に対して序盤のクイーン交換から安定した指し回しでドローに持ち込んだ黒番のIM小島が二つ目の代表枠を勝ち取りました。

熱戦の様子は、YouTubeのNCSチャンネルのアーカイブからご覧いただけます。



[アジア大会日本代表選考会2022 YouTube](#)

## アジア大会代表選考会

- 1 FM 山田 弘平 6.0/8R 代表内定
- 2 IM 小島 慎也 5.0 代表内定



## アジア競技大会豆知識

アジア競技大会はオリンピックと異なり、マインドスポーツも種目に含まれます。今回の杭州アジア競技大会では、チェス以外に、囲碁・シャンチー(中国象棋)・ブリッジ・eスポーツが競技種目に選ばれています。チェスがアジア競技大会種目には選ばれるのは、2006年ドーハ大会、2010年広州大会以来、3回目となります。



# Tournament Report 大会レポート

## 全日本ユースチェス選手権2022



2022年4月2日(土)3日(日)の2日間、新学期前の春休み期間に、品川区立中小企業センターで、全日本ユースチェス選手権が開催されました。FIDEの年齢基準(昨年12月末の年齢)で18歳未満が参加対象となり、24名の選手が30分+30秒/手、6ラウンドスイス式の熱い戦いを繰り広げました。

注目は2年連続、米国から帰国して参戦の奥野凜音くん。NCSでの対局が少ないためスタート順位が低く、いきなり2Rからシード順上位3人との対戦が組まれますが、次々と勝ち続け、圧巻の6連勝で全勝優勝を飾り、全日本ユースチェスチャンピオンの称号を手に入れました。表彰式ではU18・U16・U14の3つのセクション毎に上位3名に盾が贈られました。

### U18



- 1位 満端 響太郎 4.5/6P
- 2位 濱乃上 遥哉 3.5
- 3位 水間 諒 3.0

### U16

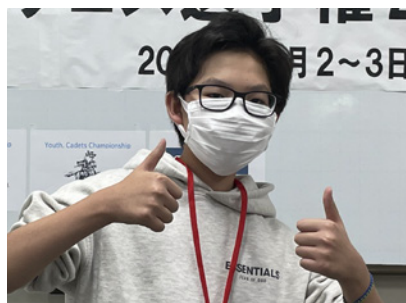


- 1位 岡部 悠真 4.5
- 2位 千綿 駿平 3.0
- 3位 Lardner, Benjamin 2.0

### U14



- 1位(全体1位) 奥野 凜音 6.0
- 2位 端本 俊仁 4.0
- 3位 Agarwal, Aviral 4.0



全体1位の奥野 凜音くん

## 全日本カデッツチェス選手権2022

2022年4月3日(日)、ユースと同じ会場で、全日本カデッツチェス選手権が開催されました。こちらは小学生を中心とするU12の選手が対象、15分+10秒のラピッドゲームの5ラウンドスイス式で開催されました。参加者は昨年の22名から大幅増の34名。初めて大会に参加する選手も多く、クロックの使い方など

の練習ラウンドを行った上で、第1ラウンドの大会が始まりました。

最初は、イリーガルムーブの判定等にアービター達も忙しく走り回りましたが、ラウンドが進むにつれ、選手も時間の使い方に慣れ、熱戦が繰り広げられました。保護者の皆さんも、対局の写真を撮ったり、廊下から試合の行方を見守ったり、選手以上に盛り上がりました。

大会はU10の堀内雄太くんが5戦全勝で見事に優勝し、全日本カデッツチェスチャンピオンの称号を手に入れました。U12・U10・U8の3つのセクション毎の上位3名に盾が、全体の上位10名にメダルが贈られました。

### U12

- 1位 山田 篤史 4.0/5P
- 2位 Uyeyama, Altai Naohiro 4.0
- 3位 Bopalkar, Ved 4.0

### U10

- 1位(全体1位) 堀内 雄太 5.0
- 2位 島垣 晴希 4.0
- 3位 Cherief, Safi 3.5

### U8

- 1位 市野 裕彬 4.0
- 2位 Chih, Tristan 3.0
- 3位 古瀬 瑞希 3.0



全体1位の堀内 雄太くん

初心者向け

【文】山田明弘

## タクティクス・ジム

これはチェスの初心者へのレッスンで実際に使われた教材です。その効果は実証済み。

題してタクティクス・ジム、つまりチェスの「筋トレ」です。

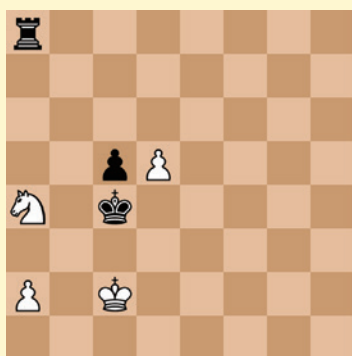
インターネット上では同じようなタクティクス問題サイトが多くあり、それぞれ便利なのですが、一度はテーマごとにじっくり学ぶことが大切です。この講座でそのお手伝いをさせていただきます。

まずはナイトフォーク。これは初心者ならナイトの動きに慣れる練習になりますし、中級者以上ならそのパターンがひと目で浮かぶかどうかのチェックになるでしょう。

## 01 ナイトフォーク Knight fork

## Level 1

## 例題 △白番



ナイトを動かしフォーク(両取り)をかけます。ナイトが動くべきマスを一瞬にひとつひとつ追います。

ナイトが動くマスはb6, c5, c3, b2の4か所。このうちb6が2つの駒を攻撃できるので、正解になります。

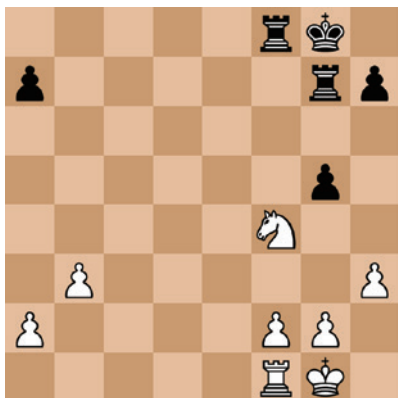
## 1.Nb6+

棋譜の練習もかねて上のように答えを書き、ナイトフォークを確かめて1問クリアです。Nb6+の後、黒はキングをよけます。次に白はNxa8とルークを取り、駒得となりますから、その後の変化は特に考える必要はありません。決め手となる1手目だけを書いてください。

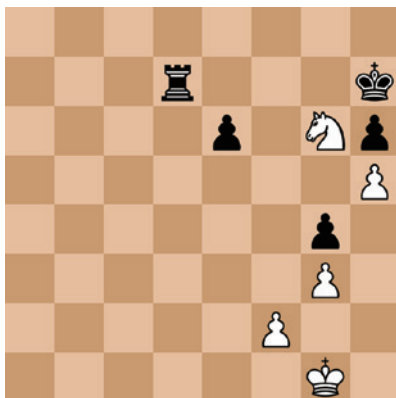
初心者は1問につき3分以内が目安(3秒以内なら上級者)です。できるだけ早く答えましょう。

## 全 11 問、チェスの筋トレ開始!

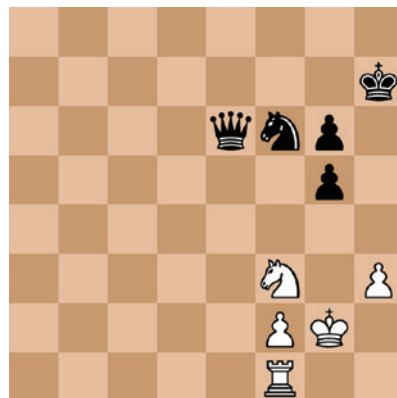
## 01 △白番



## 02 △白番

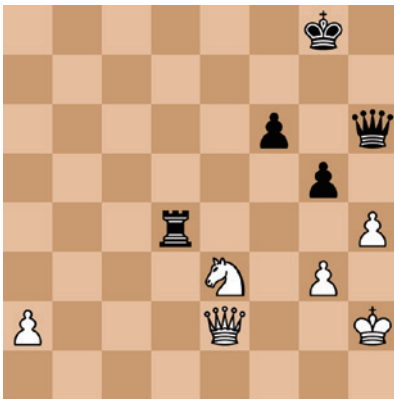


## 03 △白番





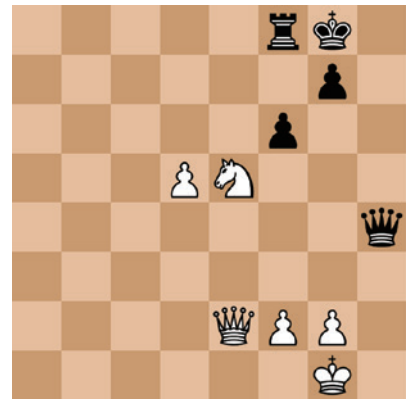
### 04 △白番



### 05 △白番



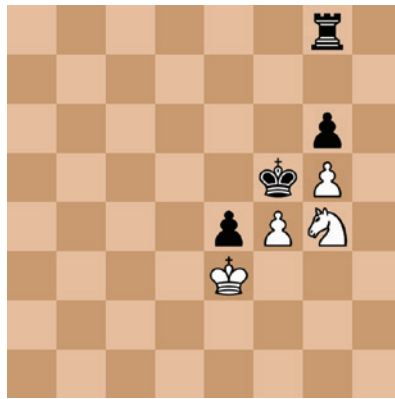
### 06 △白番



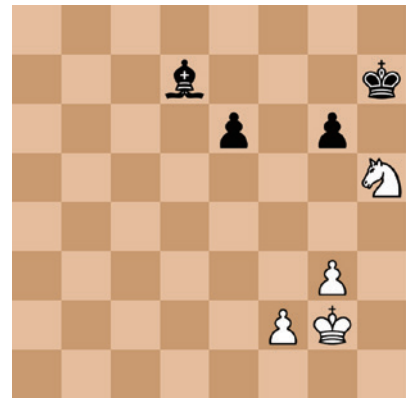
### 07 △白番



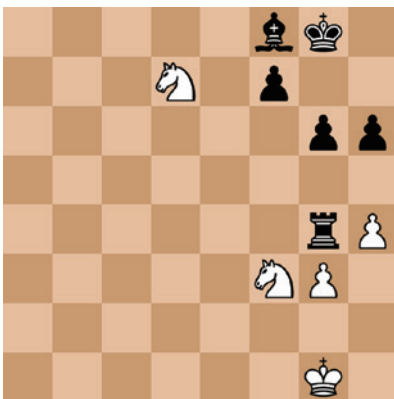
### 08 △白番



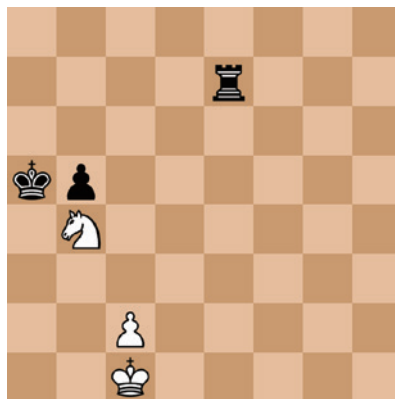
### 09 △白番



### 10 △白番



### 11 △白番



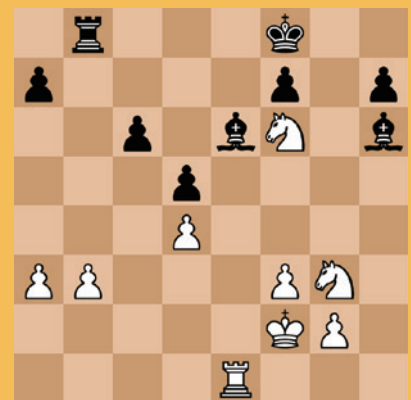
よくトライしました！

一度通してできたら2回目、3回目をやってみましょう。2回目は、1回目より倍のスピードで正解できるようにします。さあ、がんばってください！

👁️ 正解は37ページ

## Level 2

### 発展問題 △白番



ナイトフォークしたいのですが、このままではできません。どうしたらよいでしょう？ 初心者には高いハードルですがチャレンジしてみてください。たとえできなくても大丈夫。このタクティクス・ジムを続ければ必ずできるようになります！

# Interview

## Next Generation

ユースプレイヤー  
インタビュー

このコーナーでは、これからの日本チェス界を盛り上げる若手プレイヤーをご紹介します。第一回目は、先日の全日本ユースチェス選手権で第2位に輝いた岡部悠真くん。ジャパンオープンでも格上のベテランプレイヤーたちから次々とポイントを奪って好成績を残し、オンラインではyuutinの名で注目されている選手です。普段の練習や思い出のゲームについて聞いてみました。

Interviewer



Kanako  
Kinoshita

# 岡部悠真くん(15)

## Okabe



### Data

岡部悠真 (おかべ・ゆうま)  
2007年1月27日生まれ  
愛知県出身

チェスを教わった人:いとこ  
趣味:テニス、読書  
学校の好きな教科:数学  
将来の夢:チェスプレイヤー  
好きな食べ物:オムライス

### チェスとの出会いは？

チェスのルールは小さい頃から知っていましたが、ちゃんと指してみようと思ったのは2年前、13歳の時です。いとこがchess.comで対局してるのを見て、面白そうだと思って始めました。ちょうどコロナで学校が休校になっていたのも、毎日継続して指すことができていました。

### 普段どんなふうにチェスをしてる？

普段は家で、主にlichessで対局をしたり序盤の研究をしたりしています。また、週1でフィリピン人のコーチにオンラインでレッスンをしてもらっています。

### チェスで思い出に残っていることは？

初めてのFIDE公式戦であったジャパンオープンがとても印象に残っています。90+30と今までやったことのない長いタイムレンジで、強い方たちと沢山対局

できて、とても良い経験になりました。

### ベストゲームを紹介！

先日行われた全日本ユースチェス選手権のゲームを紹介したいと思います。最終ラウンド、相手は三津山六花さんで、僕が黒番でした。

1. d4 Nf6
2. c4 g6
3. Nc3 Bg7
4. e4 d6
5. Nf3 O-O
6. Be2 Na6
7. O-O e5

かなりオーソドックスなキングズインディアンになりました。





8. Re1 Bg4 9. d5 Nc5 10. Nd2 Nd3!

ピンを使い、ナイトを敵陣に入り込ませます。



11. Bxg4 Nxg4 12. Rf1 f5

ここまでは試合直前に見ていた Evgeny Postny - Hikaru Nakamura の対局と全く同じ進行でした。

13. Nf3 Nxc1 14. Rxc1 Bh6 15. Rb1 Bf4 16. h3 Nf6 17. Re1 Bh6 18. b4 Nh5?! 19. exf5!



この手は完全に見逃していました。Rxf5とするとg4、gxf5とするとNxe5があります。しかし、実際にはgxf5が成立していました。

19...Nf4?! (19...gxf5! 20. Nxe5 dxe5 21. Qxh5 Bd2!)

20. fxc6 Qf6?! 21. gxh7+ Kxh7 22. Ne4 Qg6 23. Ng3 Rae8 24. Nh3

Qf6 25. Nhf5 Rg8 26. Qc2 Kh8 27. Qe4 Rg5 28. Rbd1 Reg8 29. Nxf6 Qxh6 30. Kh2 Rg4 31. Qf5 R8g5 32. Qc8+ Rg8 33. Qf5 Rh4 34. Rh1 Rg5 35. Qc8+ Rg8

このあたりはお互い時間切迫だったので時間稼ぎです。

36. Qf5 Rf8 37. Qd7 Rf7??

実は、この手はブレンダーでした。Qxf7 とされると Rxf3+ gxh3 Qxh3+ Ke8 となり、Qg2でチェックメイトだと思っておりましたがこのクイーンはh1のルークでピンされていて動かすことができません！お互い見逃していて、対局後に凜音君に指摘されてとても驚きました。

38. Qc8+ Rf8 39. Qd7

ここで、決め手があります！！



39...Nxf3!! 40. gxh3 Rxf2+ 41. Kg1 Qe3 42. Qd8+

キングとルークのフォークに見えますが

42...Rf8+ 0-1

ディスカバードチェック返して

チェックメイトが受かりません。



この対局は最終ラウンドだったので、入賞に直結するとても重要な対局でした。

ミスもたくさんありましたが、最終的に勝てたことはとても嬉しく、沢山の事も学べました。まだまだ未熟ですが、これからも自己研鑽に励んでいきたいと思えます！

ユース・ジュニアプレーヤーのみなさん、チェスへの想いや、普段どのようにチェスをしているか、全国の仲間たちに教えてくれる人を募集しています！

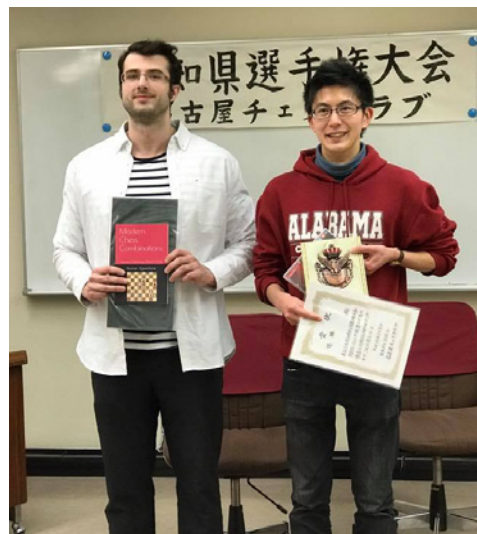
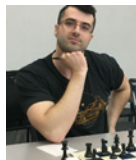
また、みなさんの周りで紹介したいジュニア・ユースプレーヤーを教えてください！全国でチェスを楽しむ若いプレーヤーたちが少しでも多くの仲間と繋がれるように、また、大会には出ていなくても各地のクラブや家でチェスを楽しむ様子など、いろいろな形でチェスを楽しむ喜びを共有できるように。

応募・紹介はこちらまで：  
[japanchess.editor@gmail.com](mailto:japanchess.editor@gmail.com)  
NCS編集部 (担当：木下)

# Aichi Championship 2022 Tournament Report

## By Scott, Tyler

Tyler is a Canadian English teacher who currently resides in Nagoya. Born in 1989, he learned the rules of chess from his father at a young age, later developing a passion for the game right before his 18th birthday. His interests outside of chess include fitness and linguistics.



Tyler Scott (2nd place) and Satoshi Hirao (1st place) at the 2017 Aichi Championship

The Aichi Championship, which is held in Nagoya every February or March, has been my best tournament in Japan over the years. With a total of four first-place finishes, and two second-place finishes, I feel justified in calling myself the 'Aichi Champion.' Whether or not I will be able to retain the title next year, however, is unclear, as several up-and-coming players are making this tournament more difficult every year. Both this year and last year I had several narrow escapes, making blunders that could have cost me first place, but somehow not being punished for them... Here's to more good luck next year!

### A brief history of the Nagoya Chess Club

The Nagoya Chess Club has existed for far longer than I would have guessed. Its predecessor, the Chunichi Chess Federation, began in 1968, and was later replaced by the current Nagoya Chess Club in 1979. The first president of the Nagoya Chess Club was the late Matsura Koji, who may be remembered by some of Japan's senior chess players.

I first visited the Nagoya Chess Club on a sunny winter morning more than five years ago, in 2017. I

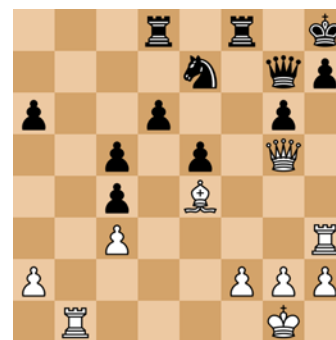
was a student at the time, studying Japanese at the Nagoya University of Foreign Studies. After several years of barely playing chess at all, my interest in our beloved game was quickly rekindled, and I have played in nearly every Nagoya tournament since the 2017 Aichi Championship!

Nagoya tournaments are among the best in Japan. There are always good prizes, and the tournament director, Horie-san, works hard to make sure that the tournaments are well organized and fair. Without him, there would probably not be a Nagoya Chess Club, so we owe him our gratitude for his dedication to keeping the Nagoya Chess Club and Nagoya tournaments running every year.

### Some highlights and lowlights from the 2022 Aichi Championship

Here are some interesting highs and lows from the 2022 Aichi Championship. As a training exercise, try to find the best move in each diagram before scrolling down.

**Okabe, Y – Scott, T**  
**Aichi Championship Nagoya (1)**  
**Sicilian Defence, Azeri Variation [B30]**



**29...Qf6??** Up on material, low on time, and thinking my opponent would not trade queens, I somehow forgot about how dangerous a rook on the 7th rank could be, even without queens on the board.

29...Rb8–+ is obvious and good.

**30.Qxf6+! Rxf6 31.Rb7** Only now, with little time on the clock, did I realize how much trouble I was in. The white rooks coordinate very nicely on the h7 square!

**31...Re6?!** This is probably not best, but Black does not have a way out of trouble here. At the most, he can hope to simplify into an equal rook ending.

31...Rf7 32.Bxg6 Rg7 33.Bxh7 Rxh7 34.Rxh7+ Kxh7 35.Rxe7+ Kg6 is equal, according to the



# Aichi Championship 2022 Tournament Report

By Scott, Tyler



Me in the first round, realizing how badly I had messed up a good position against Okabe-san

engine. However, with such an imbalanced structure, it could go wrong for either side.; 31...Re8 doesn't help, and is similar to the game continuation after 32.Bc6±

**32.Bd5 Nxd5 33.Rbxh7+ Kg8 34.Rh8+ Kg7 35.R3h7+ Kf6 36.Rxd8±**



Black certainly has some compensation for the exchange, especially with the central pawn mass, but it seems easier to play for White. After my next move, I allowed White to construct a mating net around my king. What should Black play here?

**36...Nxc3??** 36...e4 making a square on e5 for the king, was necessary.

**37.Rf8+ Kg5 38.f3??** short on time, my opponent goes about it the wrong way, allowing my king to escape.

After 38.h4+ Kg4 39.Kh2! Black is helpless against the threat of f3 mate.

**38...Rf6 39.h4+ Kf5 40.g4+ Ke6 41.Rxf6+ Kxf6 42.h5 gxh5 0-1**  
Here my opponent lost on time. Anything could happen in this endgame, but with the Black king close to White's h-pawn, and the c4-pawn only three squares away from queening, I would say that Black's chances are at least slightly better. I felt a bit bad for my opponent, as he missed a chance to win the game and lost on time shortly afterwards. Such is the nature of our unforgiving game!

**Suzuki, M – Makino, M**  
**Aichi Championship Nagoya (1),**  
**Ruy Lopez, Chigorin Defence [C97]**



Black has played well to secure a large advantage here, but can he get away with 38...Rxf2?

**38...Rxf2! 39.Be3** What should Black do now? There is only one good move.

**39...d2?** This move throws away Black's advantage.

39...Rc2! exploiting the pinned bishop on e3, is a nice tactic that wins the game for Black. The d-pawn will queen after 40.Bxb6 (40.Rd1 Bd4 41.Rxd3 Bxe3+ 42.Qxe3 g3! again exploits the weak back rank. 43.Kf1 Rf8+ 44.Nf3 Rc1+ 45.Ke2 Qc6+ with a large material advantage and a winning attack for Black.) 40...Rxc1+ 41.Kh2 d2 42.Qxg4 Re8! stopping Qe6+ 43.Qd7 Re5 44.Qd8+ Bf8 45.Qf6 Rxc5 46.Qxg5 d1Q when White does not have a perpetual. For instance 47.Qxg6+ Bg7 48.Qe6+ Kf8 49.Bc5+ Rxc5 50.Qd6+ Kf7 51.Qxc5+

**40.Rd1 Rf3?** After this, White is winning.

The weird looking 40...Rf1+! saves Black, according to the engine. For instance 41.Kxf1 (41.Rxf1 Bd4! 42.Bxd4 Qxd4+ 43.Kh2 Re8+ is better for Black, apparently. The pawn on d2 is more dangerous than White's potential attack on the black king.) 41...Rf8+ 42.Ke2 Re8

# Aichi Championship 2022 Tournament Report

By Scott, Tyler

43.Qf4 Qf6! 44.Qxf6 Bxf6 when the knight on g5 is trapped and will be lost!

41.Qxf3 gxf3 42.Bxb6± 1-0

Matsumoto,K – Ohara,A

Aichi Championship Nagoya (2),  
Slav Defence [D11]



Should Black, a piece down, force a repetition here, or is there something better?

In the game, Black saw nothing better than **17...Be5+ 18.Kg1 Bh2+ 19.Kh1 Be5+ 20.Kg1** drawing the game.

However, **17...Bd6+ 18.Kg1 Rh4!** would have won the queen, giving Black a material advantage and good attacking chances. If White tries to save the queen with **19.Qf3** he loses to the spectacular **19...Bh2+ 20.Kh1 Bg3+!** cutting off the queen's access to the h3 square, which results in mate after **21.Kg1 Rh1+ 22.Kxh1 Qh4+ ½-½**

Makino,M – Okabe,Y

Aichi Championship Nagoya (4),  
Ruy Lopez, Chigorin Defence [C99]



The players deep in thought during the third round games



Black to move. How should he continue?

**21...Ncxe4?!** This is tempting, but perhaps a bit risky.

**21...g6 22.Rc1 b4!** stopping White from playing b4, looks nice for Black. He has space and play on the queenside, while it is not clear what the white knights are doing on the kingside.

**22.Nxe4?!** This natural response is not best.

**22.Rc1!** is a strong move, which is easy to overlook. **22...Qb8 23.Nxe4 Nxe4 24.Bxe4 Rxc1** (Keeping the rooks on favors White after

**24...Bxh4 25.Qh5 f5 26.Bxf5 Bxf5 27.Qxf5±) 25.Bxc1 Bxh4 26.Qh5 f5 27.Bxf5 Bxf5 28.Qxf5∞** was probably the best continuation for both sides. The engine has a very slight preference for White, but I would say it is roughly equal.

**22...Qxc2 23.Nxd6 Qxd1 24.Raxd1 Rc2** The position is complex, but if Black can stabilize, his bishop pair should confer a slight advantage long term.

**25.Nf3 Be7 25...Bc7! 26.Nb7 e4** was probably Black's best way to continue.

**26.Nb7 Nxd5?** Black miscalculated here. This move just loses material. **27.Rxd5 Bc6 28.Rxe5 Bf6 29.Rc5!** Unfortunately for Black, he has no time to take the knight on b7, due to the hanging rook on c2!

**29...Rxc5 30.Nxc5 Bxb2 31.Nd4 Be8 32.Nxb5 Bxb5 33.Rb1 Bxa3 34.Rxb5+** and White went on to win. **1-0**

# Aichi Championship 2022 Tournament Report

By Scott, Tyler



The tournament winners, from left to right: Suzuki (2nd), Scott (1st), Tsogt-Ochir (3rd)

Scott, T – Suzuki, M [C43]

Aichi Championship Nagoya (4),  
13.02.2022

Petrov Defence



How should White continue the attack?

**18.Qf4?!** 18.fxe6! is the move I wanted to play, and it is by far the strongest continuation, but I did not have the confidence in my calculation at the time. Let's take a look. 18...Bxh6 (18...f6 is the engine's choice, and might be the best try, but White is still winning after 19.Qh3 Qxd4+ (19...fxe5? 20.Rf7! Bg7 21.Bh6 Qxd4+ 22.Kh1±) 20.Kh1 Qxe5 21.Bf4 Qh5 22.Qxh5 gxh5 23.Bxb8 Rxb8

24.Rxf6±) 19.exf7+ Kg7 (19...Kh8? 20.fxe8Q+ Qxe8 21.Bxh6± is obviously winning for White, and did not worry me during the game.) 20.fxe8N+! Qxe8 21.Rf7+ Qxf7 (21...Kg8 22.Bxh6± is dreadful for Black, who will have to give up the queen to survive the attack.) I calculated to around here, and was not sure who was better because I was not seeing the variations clearly in my head. I needed to see a bit deeper to realize that after 22.Bxh6+ Kxh6 23.Nxf7+± White is simply up a piece.

The game continued, with several inaccuracies on both sides.

**18...gxf5 19.Qg3+ Kh8 20.Bxf5 Bg7 21.Bb2?! Qd5 22.Bxe6 fxe6 23.Rf7? 23.Nf7+!±**

**23...Bxe5 24.dxe5 Rg8 25.Qf2? 25.Qf3 Qxf3 26.Rxf3=**



How can Black strike back here?

I was very relieved, when after a couple minutes of thinking, my opponent decided to play **25...Rg6?**

I was very worried about 25...Rxd2+! 26.Qxd2 Rg8 27.Qxd8+ Kxd8 28.Rb1∞ which should be at least fine for Black, as the white king is exposed.

**26.g3 h5? 27.Rf1 Rbg8 28.Rf8±** White is still better here, but my opponent, under pressure, made it easy for me by making a game losing blunder.

**28...Rxf8?? 29.Qxf8+ Kh7 30.Rf7+ Rg7 31.Qxg7# 1-0**

Overall, another great tournament at the Nagoya Chess Club! I hope that after reading this article, you are inspired to come and play in some Nagoya tournaments! See you there!

If you find yourself in Aichi Prefecture, stop by the Nagoya Chess Club for a game or two. More information about the club and its tournaments can be found at <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~nagoyachessclub/index.html>



# NCS (日本チェス連盟) これまでの歩み

石の上にも3年。発足当初から数々の課題をひとつずつクリアし、パンデミックを経験しながらも決して足を止めることのなかったNCS。そんなNCSを今までリードしてきたヒーバート由美子さんに、これまでの歩みと今後の期待について話を聞いてみた。

● **2019年2月** 発足。

● **2019年3月** NCSになって初めての大会「東京チェス選手権」を開催。twitterアカウント開設。

● **2020年2月** 90th FIDE Congress in Abu Dhabiに参加。

● **2020年4月** 初のオンライン大会「NCSオンライントーナメント トライアル1」開催。

● **2020年5月** NCS公式YouTubeチャンネルでの配信開始。

● **2021年8月** NCS公式OPENRECチャンネル開設。

● **2021年11月** GM Anish Giriとのオンライン同時対局。

● **2022年1月** 理事選挙、新理事に真鍋浩さんが就任 & 大崎に事務所を設置。

コロナウイルス蔓延防止のため、OTB大会が開催できない状況に...



大崎の新事務所



GM Anish Giriとの  
オンライン同時対局



## NCS 理事辞任、3年を経て...

ヒーバート由美子 Founder & Executive Adviser

NCS設立から既に3年、その間起きたことを細かく振り返ると本当に長い時間が過ぎたように感じます。

すっかり白髪になってしまった私の髪の毛を見るときずいぶん苦労したのかな、と感じますが楽しかったことも山のようにありました。チェス盤を鋭く見つめるプレイヤーの姿に惹かれて今日までやってきましたが、理事を降りた今でもチェスの素晴らしさに感動する気持ちは変わりません。

日本のチェス界は世界規模で比べたら本当に小さく、存在が薄い世界ですが、小さいながらもその世界の中は奥が深く、チェスを愛する人たちが多く存在しています。NCSがやっと流れに乗り始めたかな、という矢先にコロナウイルスが現れ、今まで普通と思って

いた生活が普通じゃなくなりましたね。そんな中でも会員の皆様に支えられNCSは生き残ることができました。

日本の唯一のチェス団体としてチェスプレイヤーにできることは何なのか、どこをどのような形で優先順位を決めるのか、簡単な答えが出ない問答をやりつつここまでできています。

1月に初の会員を対象とした選挙を行い、新たに真鍋浩さんが理事として加わりました。私が手探りで始めてきたことを、今度は彼が代わりとなってさらに土台のしっかりした組織にしていってくれることを楽しみにしています。

コロナが蔓延する前は日本にいる間に地方のクラブに出向き、各地方で頑張っている方々に直接お

会いすることを予定していました。残念ながらそれが実行できなかったことはとても悔やまれます。私と共にNCSを見守り引っ張っていただいている山田明弘さんと新しい仲間の真鍋さんとで地方の方々との繋がりを強めていってほしいなと思っています。

色々行き足りない部分が多いままここまでできましたが、今まで支えてくださった会員の皆様には心から感謝しています。理事は降りたものの、これからもNCSの影の存在としてお手伝いさせていただきます。これからもずっと皆さんと一緒に日本のチェス界を守っていきたいと思っています。これまで私を代表として信頼していただきありがとうございました。どうぞこれからもよろしくお願いします。

### タクティクス・ジム 解答

01 1.Ne6

02 1.Nf8+

03 1.Nxg5+

04 1.Nf5

05 1.Ne7+

06 1.Ng6

07 1.Ne7+

08 1.Nh6+

09 1.Nf6+

10 1.Nf6+

11 1.Nc6+

**発展問題** 1.Rxe6! fxe6 2.Nd7+

出題は 28 ページ

### 編集部

木下奏子

神田大吾

ごまめ

黒坂雄基

山内美加

りんごぼうず

萩原貴子

原島もも

真鍋浩

山田明弘

影の助っ人

(順不同)

### 発行

日本チェス連盟

(一般社団法人 National Chess Society of Japan)

本誌に掲載された写真、イラスト、記事、棋譜の解説等について、無断転載および無断配布を禁止します。著作権はそれぞれのクリエイターにあります。

ご意見・ご感想などは [japanchess.editor@gmail.com](mailto:japanchess.editor@gmail.com) までお寄せください。